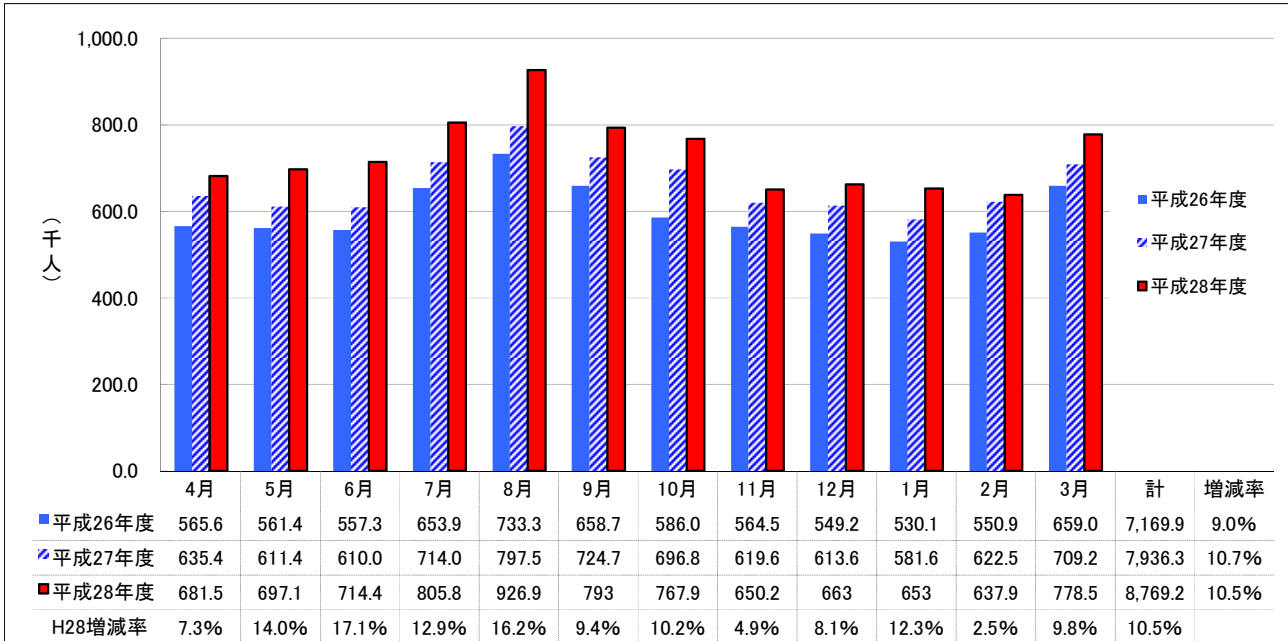


平成 28 年度 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 29 年 4 月発表

平成 28 年度の観光客数は、876 万 9,200 人で過去最高
対前年度 (H27) 比 +83 万 2,900 人、+10.5%

■月別入域観光客数の推移（平成 26 年度～平成 28 年度）



■平成 28 年度の概況（総括）

平成 28 年度の入域観光客数は 876 万 9,200 人で、対前年度比で 83 万 2,900 人、率にして 10.5% の増加となり、4 年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。外国客においては初の 200 万人台を記録した。

また、前年度に続き、月別では、全ての月において前年同月を上回るとともに、各月の過去最高記録を更新した。

前年度と比べて増加した要因は次の通りと考えられる。

- 官民あがてのプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと
- 関係機関及び民間事業者と連携した受入体制整備の取組により、満足度向上等に努めたこと
- 国内航空路線の拡充による国内客の増加
- 海外航空路線の拡充・クルーズ船の寄港回数増による外国人観光客の大幅増

■平成 29 年度の見通し

景気は民需を中心とした景気回復が見込まれることや、各航空会社による航空路線の拡充があることから、国内観光地との競合が想定されるものの、国内旅行市場は堅調に推移するとみられる。

また、外国客については、東アジアの主要国・地域において航空路線拡充の動きがあることや、クルーズ船の寄港回数が昨年を大幅に上回る予定となっていることなどから、引き続き、好調に推移するものと見込まれる。

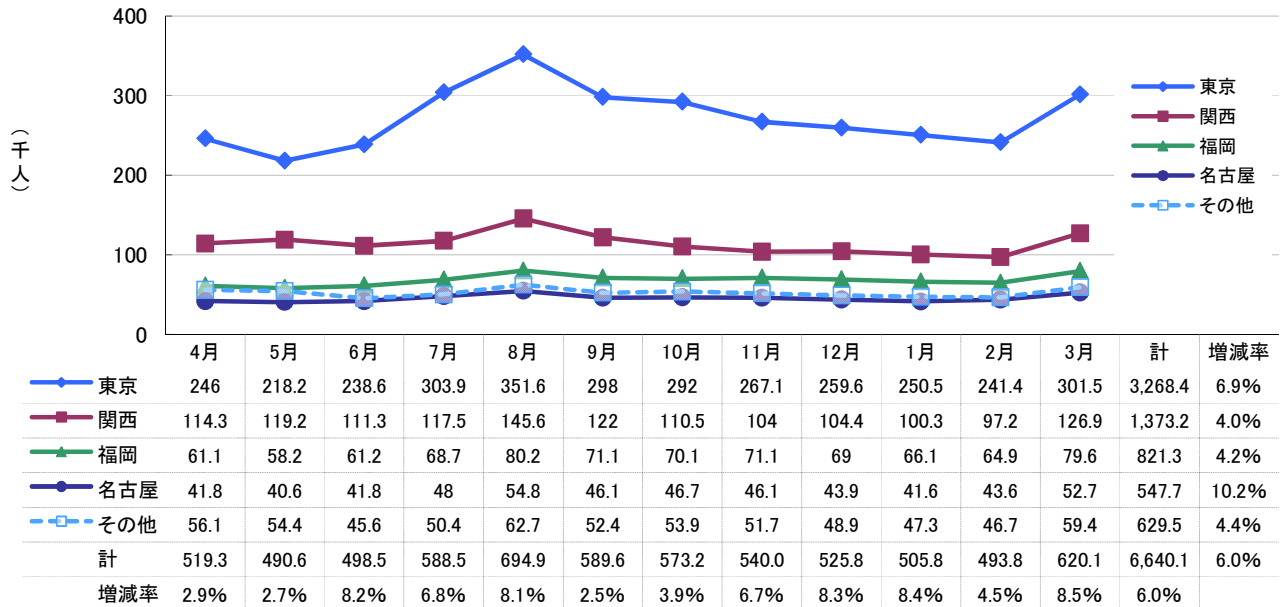
春と秋には、大規模な学術会議等が予定されており、国内外からの誘客効果が期待出来る。

国内観光客の動向

■入域観光客数（国内）

平成 28 年度の国内客は、664 万 100 人で、対前年度比で 37 万 4,100 人、率にして 6.0%の増加となり、過去最高となった。これまでの国内客の過去最高の入込は、平成 27 年度の 626 万 6,000 人。

■平成 28 年度国内観光客の状況（方面別の月別推移）



■国内観光客の概況

平成 28 年度は、昨年と比べると台風の影響が少なかったことや、景気回復基調が継続したこと等から、全体として国内旅行需要は好調に推移した。羽田－宮古路線の新規就航等の航空路線の拡充に加えて、羽田・伊丹－那覇路線や、各離島への直行便も好調であったこと等から、前年度を上回った。

【方面別の動向】

東京方面 羽田－那覇路線及び離島への直行便が好調であったことや、LCCによる新規就航があったこと等により、羽田・成田方面ともに前年度を上回った。

関西方面 伊丹－那覇路線を中心とした航空路線の拡充や、関西から宮古・石垣への直行便がいずれも好調であったこと等により、前年度を上回った。

福岡方面 4月の熊本地震の影響が懸念されたものの、福岡－那覇路線において提供座席数が増加し、入込客数が好調に推移したこと等により、前年度を上回った。

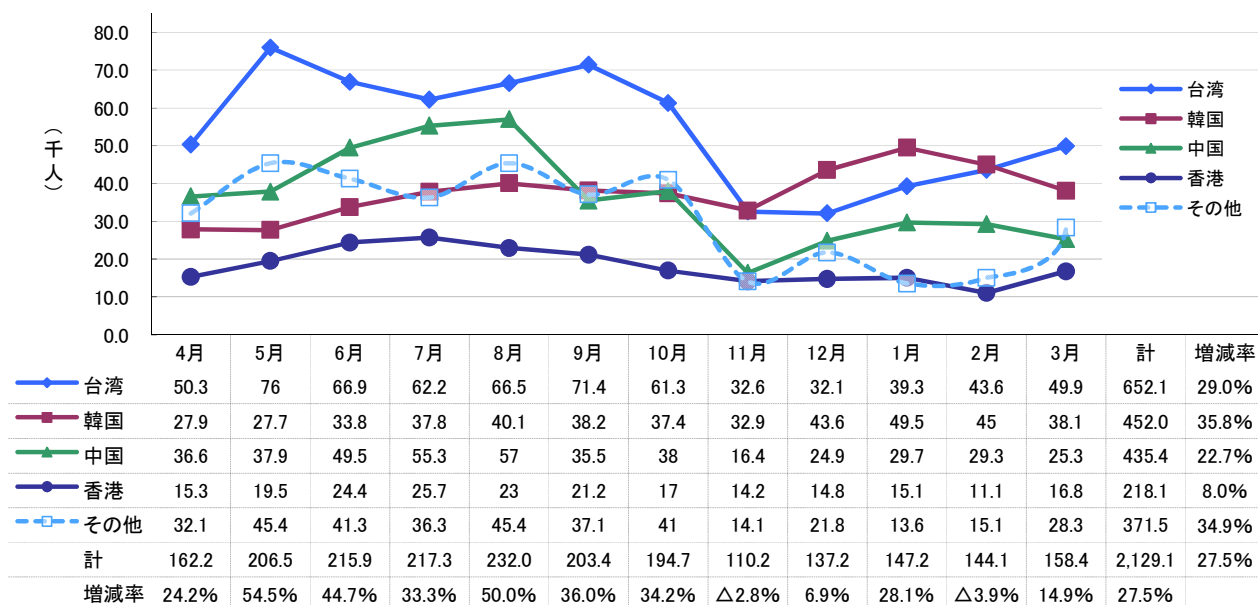
名古屋方面 名古屋－那覇路線において提供座席数が増加したことや、LCCが好調であったこと等により、前年度を上回った。増加率は主要方面で最も高かった。

外国人観光客の動向

■入域観光客数（外国）

平成 28 年度の外国客は、212 万 9,100 人で、対前年度比で 45 万 8,800 人、率にして 27.5%の増加となり、国内客同様過去最高となった。これまでの外国客の過去最高の入込は、平成 27 年度の 167 万 300 人。

■平成 28 年度外国人観光客の状況（方面別の月別推移）



■外国人観光客の概況

平成 28 年度は、昨年度から引き続き、訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線の新規就航および既存路線の増便があり、空路客が増加した。

また、クルーズ船の寄港回数が夏場を中心に大きく増加したことにより、海路客も大幅に増加した。

【国籍別の動向】

台湾 バニラ・エアによる台北－那覇路線の新規就航やLCCの増便などの航空路線の拡充に加え、クルーズ船の寄港回数増により、空路・海路客ともに過去最高であった昨年度を上回り、方面別で最大の入込となった。

韓国 大韓航空によるソウル－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充により、空路客を中心に増加、過去最高を記録し台湾に次ぐ入込となった。

中国本土 南京－那覇路線の新規就航や、中国発のクルーズ船の寄港回数の増により、空路・海路ともに増加、過去最高を記録した。

香港 香港エクスプレスによる香港－石垣路線の新規就航や、香港発クルーズ船の寄港などにより、空路・海路客ともに増加、過去最高を記録した。

平成28年（2016）4月 入域観光客数概況

4月の観光客数は、68万1,500人
対前年（H27）同月比 +4万6,100人、+7.3%
～4月の過去最高を更新、各月の過去最高を30ヶ月連続更新～

入域状況

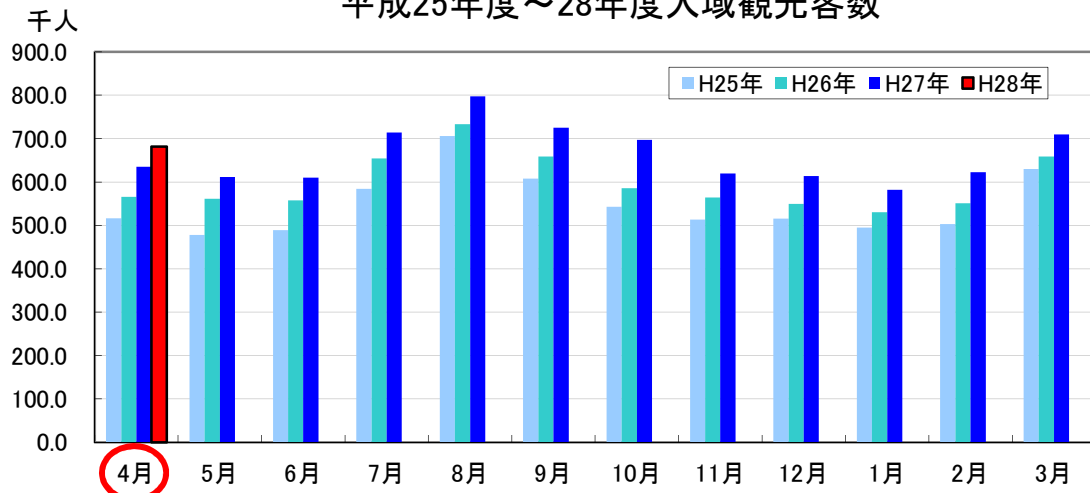
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	76.2%
外国客	162,200 人	130,600 人	+ 31,600人	+ 24.2%	23.8%
合計	681,500 人	635,400 人	+ 46,100人	+ 7.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	78.7%
外国客	140,400 人	111,200 人	+ 29,200人	+ 26.3%	21.3%
合計	659,700 人	616,000 人	+ 43,700人	+ 7.1%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

4月は、ゴールデンウィーク前半の旅行需要があったことや、3月末からの羽田及び関西－宮古路線の就航等により、東京及び関西方面を中心に入込が好調に推移し、前年を上回った。
5月以降は、離島方面や個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

4月は、3月末からの台湾及び中国における航空路線の拡充や、厦門及び広州発を含むクルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに好調に推移し、前年を上回った。
5月は、韓国1社の定期便及び中国・瀋陽－那覇路線の年間チャーターを含む航空路線の拡充の動きがあることや、クルーズ船の寄港回数の大幅な増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。また、タイ・バンコク－那覇間のチャーター等が実施されることなどから、今後、新たな市場からの誘客効果も期待できる。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	246,000 人	236,900 人	+ 9,100人	+ 3.8%	47.4%
関西方面	114,300 人	111,400 人	+ 2,900人	+ 2.6%	22.0%
福岡方面	61,100 人	60,300 人	+ 800人	+ 1.3%	11.8%
名古屋	41,800 人	41,900 人	△ 100人	△ 0.2%	8.0%
その他	56,100 人	54,300 人	+ 1,800人	+ 3.3%	10.8%
合計	519,300 人	504,800 人	+ 14,500人	+ 2.9%	100.0%

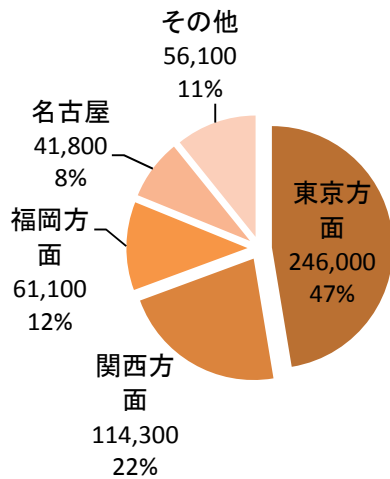
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島1,900人、神戸800人、横浜400人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

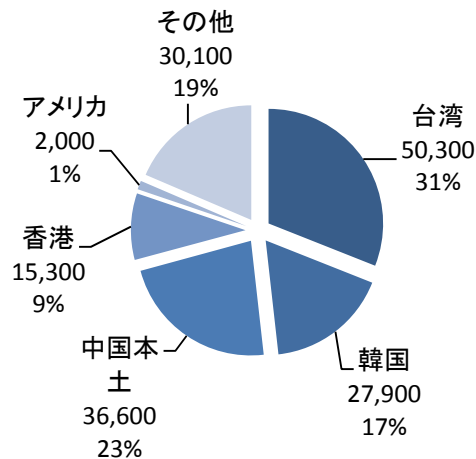
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	50,300 人	50,300 人	45,600 人	+ 4,700人	+10.3%	31.0%
韓国	27,900 人	27,900 人	20,600 人	+ 7,300人	+35.4%	17.2%
中国本土	36,600 人	36,600 人	22,200 人	+ 14,400人	+64.9%	22.6%
香港	15,300 人	15,300 人	14,700 人	+ 600人	+4.1%	9.4%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,100 人	+ 900人	+81.8%	1.2%
その他	30,100 人	8,300 人	26,400 人	+ 3,700人	+14.0%	18.6%
合計	162,200 人	140,400 人	130,600 人	+ 31,600人	+24.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	36,400 人	36,400 人	+37.4%	34.5%	13,900 人	13,900 人	△27.2%	24.5%
韓国	27,900 人	27,900 人	+35.4%	26.5%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	20,200 人	20,200 人	+32.0%	19.2%	16,400 人	16,400 人	+137.7%	28.9%
香港	14,400 人	14,400 人	△0.7%	13.7%	900 人	900 人	+350.0%	1.6%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+60.0%	1.5%	400 人	400 人	+300.0%	0.7%
その他	4,900 人	4,900 人	+11.4%	4.6%	25,200 人	3,400 人	+14.5%	44.4%
合計	105,400 人	105,400 人	+28.1%	100.0%	56,800 人	35,000 人	+17.6%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

4月は、3月末からのANAの羽田－宮古路線の就航やLCC2社の増便等による入込が増加したこと、各旅行会社の販売状況が良好だったこと等から、前年を上回った。
5月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

4月は、3月末からのANAの関西－宮古路線の運航再開や、ゴールデンウィークの入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
5月以降は、各航空会社で離島方面を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

福岡

4月は、中旬の熊本地震の影響により、一部の団体旅行等のキャンセルがあったものの、各航空会社による福岡－那覇路線の拡充等があったこと等から、前年を上回った。
5月は、一部において、引き続き、地震の影響による旅行自粛の動き等が見られるものの、今後は、各旅行会社及び航空会社による商品造成の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

4月は、各旅行会社の販売状況は、個人旅行を中心に堅調に推移したものの、団体旅行が伸び悩んだこと等から、全体としては前年並みであった。
5月は、ゴールデンウィークの日並びの影響や、他方面との競合が懸念されるものの、6月以降は個人・団体旅行ともに予約状況が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

台湾

4月は、3月末からの中華航空の台北－石垣路線の季節運航再開や各航空会社の航空路線の拡充により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
5月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること、各旅行会社及び航空会社による商品造成の取り組み強化の動きがあること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

4月は、3月末からの釜山－那覇路線の減便による影響が懸念されたものの、イースター航空のソウル－那覇路線の増便や、各航空会社及び旅行会社による旅行商品販売の取り組み強化があったこと等により、空路客を中心に前年を上回った。
5月は、大韓航空のソウル－那覇路線の新規就航やジンエアーの釜山－那覇路線が運行再開したこと等から、引き続き、空路客を中心に好調に推移する見込み。

中国本土・北京

4月は、3月末からの中国国際航空の北京－那覇路線の増便や、天津－那覇路線が好調を維持していたこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
5月は、個人・団体旅行ともに予約状況が良好なことや、首都航空による瀋陽－那覇路線の年間チャーター就航を含む航空路線の拡充があること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

4月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、厦門及び広州発を含むクルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
5月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

4月は、清明節による旅行需要や、香港発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。
5月以降は、個人・団体旅行ともに予約状況が好調なことや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に好調に推移する見込み。

平成28年（2016）5月 入域観光客数概況

5月の観光客数は、69万7,100人
対前年（H27）同月比 +8万5,700人、+14.0%
～5月の過去最高を更新、外国客は単月初の20万人台を記録～

入域状況

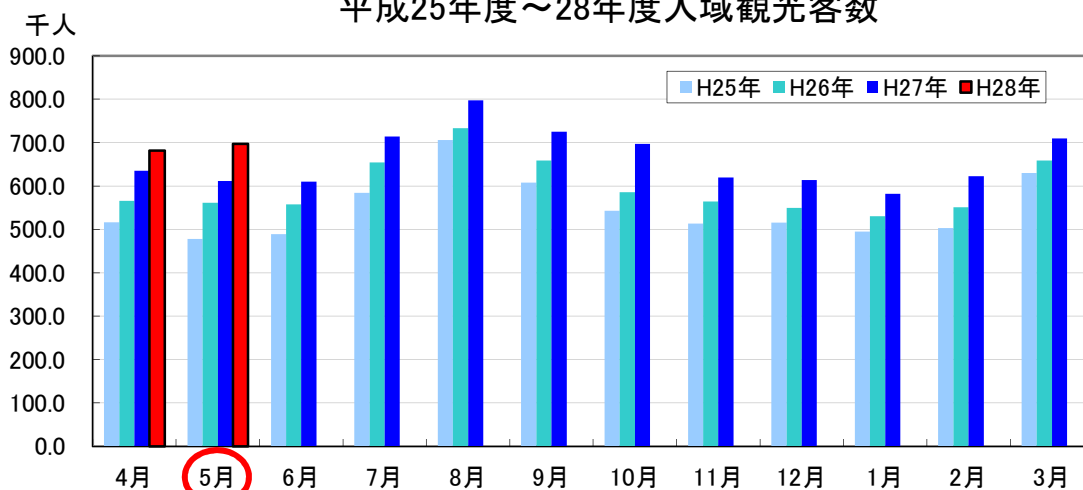
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	490,600人	477,700人	+ 12,900人	+ 2.7%	70.4%
外国客	206,500人	133,700人	+ 72,800人	+ 54.5%	29.6%
合計	697,100人	611,400人	+ 85,700人	+ 14.0%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	490,600人	477,700人	+ 12,900人	+ 2.7%	74.2%
外国客	170,400人	116,600人	+ 53,800人	+ 46.1%	25.8%
合計	661,000人	594,300人	+ 66,700人	+ 11.2%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

5月は、4月中旬の熊本地震に伴い、一部において影響がみられたものの、羽田及び関西－宮古路線を中心とした離島方面が好調に推移したことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から前年並みとなった。

6月以降は、離島方面を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

5月は、韓国及び中国における航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が大幅に増加したこと等により、空路・海路ともに順調に増加し、単月として初の20万人台となり、過去最高を記録した。

6月以降は、香港－石垣や、7月の台北－那覇及び中国・南京－那覇路線の相次ぐ新規就航を含む航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数的大幅な増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	218,200 人	211,700 人	+ 6,500人	+ 3.1%	44.5%
関西方面	119,200 人	115,900 人	+ 3,300人	+ 2.8%	24.3%
福岡方面	58,200 人	57,100 人	+ 1,100人	+ 1.9%	11.9%
名古屋	40,600 人	37,800 人	+ 2,800人	+ 7.4%	8.3%
その他	54,400 人	55,200 人	△ 800人	△ 1.4%	11.1%
合計	490,600 人	477,700 人	+ 12,900人	+ 2.7%	100.0%

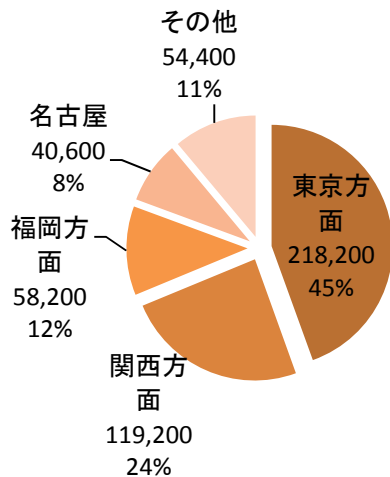
※国内海路客8,600人を含む(鹿児島3,000人、神戸2,000人、関西100人、その他3,500人)

外国客 国籍別入域状況

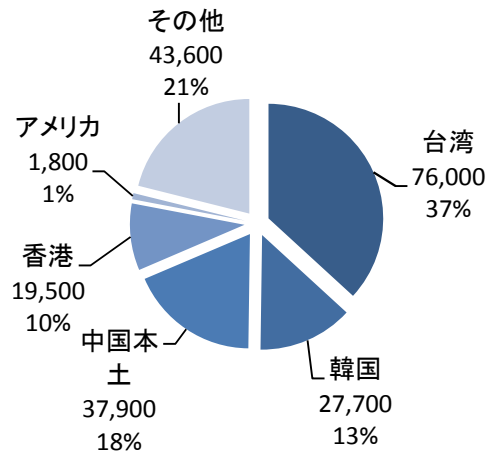
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	76,000 人	76,000 人	55,300 人	+ 20,700人	+37.4%	36.8%
韓国	27,700 人	27,700 人	21,800 人	+ 5,900人	+27.1%	13.4%
中国本土	37,900 人	37,900 人	17,300 人	+ 20,600人	+119.1%	18.4%
香港	19,500 人	19,500 人	16,600 人	+ 2,900人	+17.5%	9.4%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	1,200 人	+ 600人	+50.0%	0.9%
その他	43,600 人	7,500 人	21,500 人	+ 22,100人	+102.8%	21.1%
合計	206,500 人	170,400 人	133,700 人	+ 72,800人	+54.5%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	39,300 人	39,300 人	+27.2%	35.2%	36,700 人	36,700 人	+50.4%	38.6%
韓国	27,600 人	27,600 人	+38.0%	24.8%	100 人	100 人	△94.4%	0.1%
中国本土	21,500 人	21,500 人	+24.3%	19.3%	16,400 人	16,400 人	皆増	17.3%
香港	17,300 人	17,300 人	+4.2%	15.5%	2,200 人	2,200 人	皆増	2.3%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+44.4%	1.2%	500 人	500 人	+66.7%	0.5%
その他	4,500 人	4,500 人	+15.4%	4.0%	39,100 人	3,000 人	+122.2%	41.2%
合計	111,500 人	111,500 人	+24.4%	100.0%	95,000 人	58,900 人	+115.4%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

5月は、羽田－宮古路線を中心に好調だったことや、LCCを中心に成田からの入込が増加したこと等から、前年を上回った。

6月は、他方面との競合が懸念されるものの、例年梅雨明けとなる後半を中心に各旅行会社による商品販売の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

5月は、伊丹－那覇路線の提供座席数増や、離島方面を中心に入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

6月以降は、各航空会社で引き続き、離島方面を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

福岡

5月は、4月中旬以来の熊本地震の影響により、一部において団体旅行等のキャンセルや旅行自粛の動きがあったこと等から、前年を下回った。

6月は、引き続き、地震の影響が懸念されるものの、後半から福岡－石垣路線の季節運行が再開することに加えて、個人旅行を中心に旅行商品の予約状況が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

5月は、各旅行会社の販売状況が好調を維持したことや、スカイマークによる増便等、航空路線の拡充があったことから、前年を上回った。

6月は、他方面との競合が懸念されるものの、個人・団体旅行ともに予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

5月は、各航空会社の航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

6月は、端午節の連休による旅行需要や、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、クルーズ船の寄港予定があることに加え、7月からV Airの台北－那覇路線の新規就航があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

5月は、4月中旬以来の熊本地震の影響による一部キャンセル等があったものの、大韓航空のソウル－那覇路線の新規就航やジンエアーの釜山－那覇路線が運行再開したこと等により、空路客を中心に前年を上回った。

6月は、顕忠日の連休による旅行需要や、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

5月は、北京首都航空による瀋陽－那覇路線の定期チャーター就航や、天津－那覇路線が好調だったこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

6月は、端午節の連休による旅行需要や、航空路線の拡充の動きがあること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

5月は、各旅行会社の販売状況が好調だったことや、上海、廈門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

6月は、各旅行会社による旅行商品の予約状況が好調なことや、引き続き、上海、廈門及び広州発クルーズ船の寄港予定があることに加え、7月から上海吉祥航空の南京－那覇路線の新規就航があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

5月は、労働節の連休による旅行需要の高まりに加え、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。

6月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の新規就航があることや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

平成28年（2016）6月 入域観光客数概況

6月の観光客数は、71万4,400人
対前年（H27）同月比 +10万4,400人、+17.1%
～6月の過去最高を更新、6月として初の70万人台を記録～

入域状況

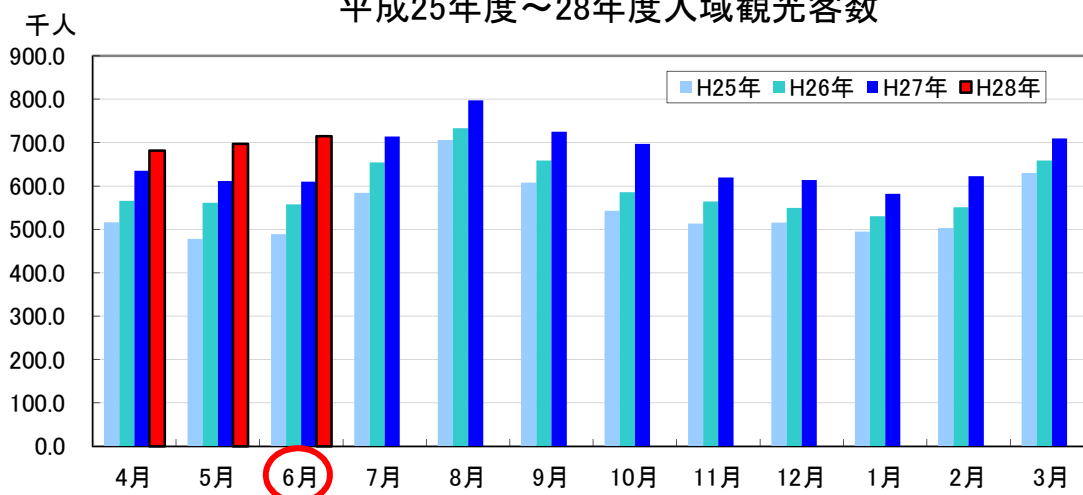
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	69.8%
外国客	215,900 人	149,200 人	+ 66,700人	+ 44.7%	30.2%
合計	714,400 人	610,000 人	+ 104,400人	+ 17.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	72.9%
外国客	185,600 人	132,400 人	+ 53,200人	+ 40.2%	27.1%
合計	684,100 人	593,200 人	+ 90,900人	+ 15.3%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

6月は、各航空会社及び旅行会社による販売取り組み強化により、各方面ともに販売状況が好調だったことや、羽田や伊丹など主要方面路線が好調に推移したこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から前年を上回った。

7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

6月は、香港－石垣路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が大幅に増加したこと等により、空路・海路ともに順調に増加し、前年を上回った。また、シンガポール等からのチャーター便が好調だった事などから、主要方面以外の入込も好調となった。

7月は台北－那覇及び中国・南京－那覇路線の新規就航、天津－那覇路線再開を含む航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	238,600 人	215,200 人	+ 23,400人	+ 10.9%	47.9%
関西方面	111,300 人	106,300 人	+ 5,000人	+ 4.7%	22.3%
福岡方面	61,200 人	56,800 人	+ 4,400人	+ 7.7%	12.3%
名古屋	41,800 人	37,200 人	+ 4,600人	+ 12.4%	8.4%
その他	45,600 人	45,300 人	+ 300人	+ 0.7%	9.1%
合計	498,500 人	460,800 人	+ 37,700人	+ 8.2%	100.0%

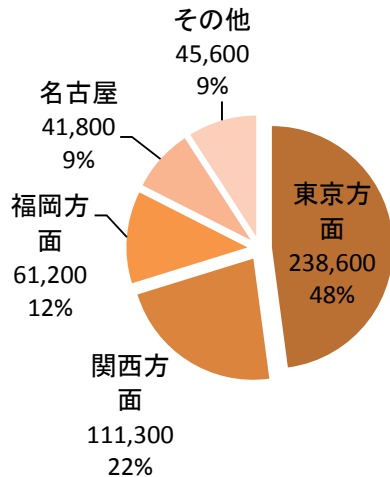
※国内海路客4,700人を含む(鹿児島1,800人、横浜2,000人、神戸800人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

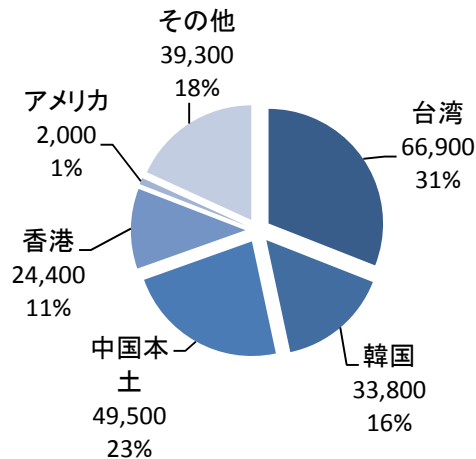
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	66,900 人	66,900 人	61,800 人	+ 5,100人	+8.3%	31.0%
韓国	33,800 人	33,800 人	19,100 人	+ 14,700人	+77.0%	15.7%
中国本土	49,500 人	49,500 人	25,900 人	+ 23,600人	+91.1%	22.9%
香港	24,400 人	24,400 人	18,800 人	+ 5,600人	+29.8%	11.3%
アメリカ	2,000 人	2,000 人	1,400 人	+ 600人	+42.9%	0.9%
その他	39,300 人	9,000 人	22,200 人	+ 17,100人	+77.0%	18.2%
合計	215,900 人	185,600 人	149,200 人	+ 66,700人	+44.7%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,900 人	46,900 人	+17.5%	35.4%	20,000 人	20,000 人	△8.7%	24.0%
韓国	33,500 人	33,500 人	+76.3%	25.3%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	25,500 人	25,500 人	+28.8%	19.3%	24,000 人	24,000 人	+293.4%	28.7%
香港	18,800 人	18,800 人	+1.1%	14.2%	5,600 人	5,600 人	+2700.0%	6.7%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	+45.5%	1.2%	400 人	400 人	+33.3%	0.5%
その他	6,100 人	6,100 人	+32.6%	4.6%	33,200 人	2,900 人	+88.6%	39.8%
合計	132,400 人	132,400 人	+28.5%	100.0%	83,500 人	53,200 人	+80.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

6月は、各社旅行商品の販売状況が好調だったことや、羽田方面路線の提供座席数増、引き続き、LCCを中心に成田からの入込が増加したこと等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、各航空会社による深夜便や羽田ー久米島路線の直行便再開などを含めた航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

6月は、各航空会社の早期予約割引が好調だったことや、引き続き、伊丹ー那覇路線の提供座席数増、離島方面を中心に入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要が高まる8月を中心に、各旅行会社において離島を中心に予約状況が良好なことや、夏後半の商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

6月は、各航空会社の販売状況が個人旅行を中心に好調だったことや、福岡ー那覇路線の提供座席数増等から、前年を上回った。
7月以降は、夏休み需要の高まりによる、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なこと、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

6月は、各旅行会社の販売状況が団体旅行を中心に好調だったことや、引き続き、スカイマークによる増便等、航空路線の拡充があったことから、前年を上回った。
7月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、沖縄方面への夏休み旅行人気を背景に、8月は各旅行会社において個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

6月は、端午節の連休による旅行需要に加え、各航空会社の航空路線の拡充等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
7月は、V Airの台北ー那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

6月は、顕忠日の連休による旅行需要に加え、各旅行会社の販売状況が個人旅行を中心に好調だったことや、航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
7月は、他方面との競合が懸念されるものの、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

6月は、各旅行会社の販売状況が好調だったことや、天津及び瀋陽ー那覇路線がいずれも好調だったこと、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
7月は、天津航空の天津ー那覇路線の運行再開を含む航空路線の拡充があること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

6月は、端午節の連休による旅行需要に加え、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
7月は、上海吉祥航空の南京ー那覇路線の新規就航があること、引き続き、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

香港

6月は、香港エクスプレスの香港ー石垣路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
7月は、各旅行社による離島商品の販売取り組みの動きがあることや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

担当：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 川上(カワカミ) TEL 098-866-2763

平成28年（2016）7月 入域観光客数概況

7月の観光客数は、80万5,800人
対前年（H27）同月比 +9万1,800人、+12.9%
～7月の過去最高を更新、単月として初の80万人を超えた～

入域状況

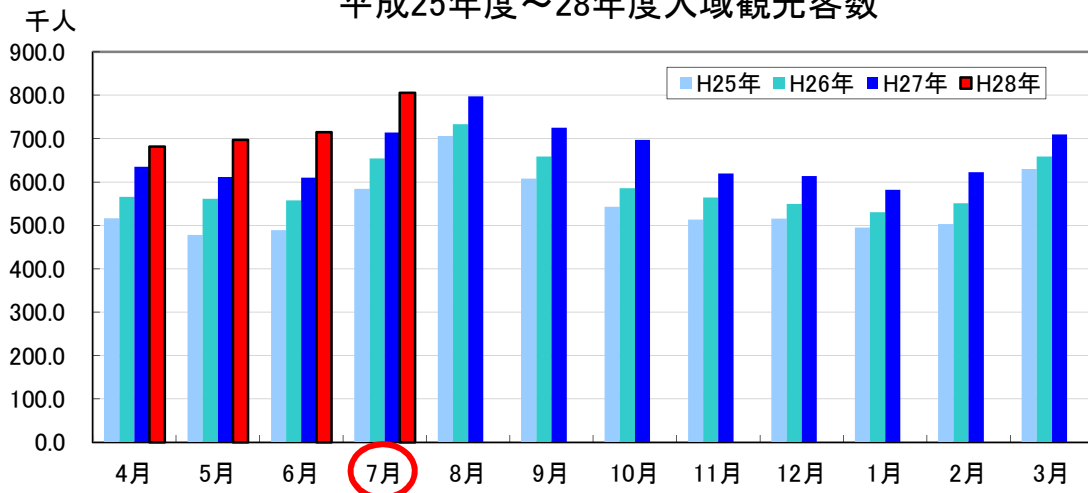
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	73.0%
外国客	217,300 人	163,000 人	+ 54,300人	+ 33.3%	27.0%
合計	805,800 人	714,000 人	+ 91,800人	+ 12.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	75.5%
外国客	191,100 人	143,600 人	+ 47,500人	+ 33.1%	24.5%
合計	779,600 人	694,600 人	+ 85,000人	+ 12.2%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

7月は、各航空会社及び旅行会社の販売状況が良好だったことや、東京や関西に加えて福岡、名古屋の各主要方面ともに好調だったこと、各航空会社による深夜便を含む増便等、航空路線の拡充があったこと等から前年を上回った。

8月は、夏休み旅行需要の高まりにより、各旅行会社による商品の予約状況が良好なことや、お盆期間の臨時便を含めた航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

7月は、台北－那覇及び中国・南京－那覇路線の新規就航、天津－那覇路線再開を含む航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路ともに順調に増加、前年を上回り、3ヶ月連続で単月の過去最高記録を更新した。

8月は、夏場の旅行需要に加え、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数的大幅な増加が予定されていること等から、空路・海路ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	303,900 人	287,400 人	+ 16,500人	+ 5.7%	51.6%
関西方面	117,500 人	112,000 人	+ 5,500人	+ 4.9%	20.0%
福岡方面	68,700 人	63,500 人	+ 5,200人	+ 8.2%	11.7%
名古屋	48,000 人	42,700 人	+ 5,300人	+ 12.4%	8.2%
その他	50,400 人	45,400 人	+ 5,000人	+ 11.0%	8.6%
合計	588,500 人	551,000 人	+ 37,500人	+ 6.8%	100.0%

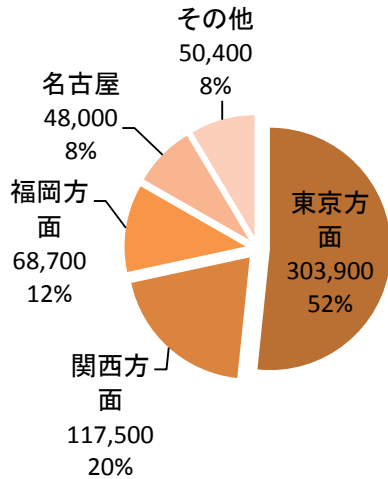
※国内海路客3,500人を含む(鹿児島2,600人、大分800人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

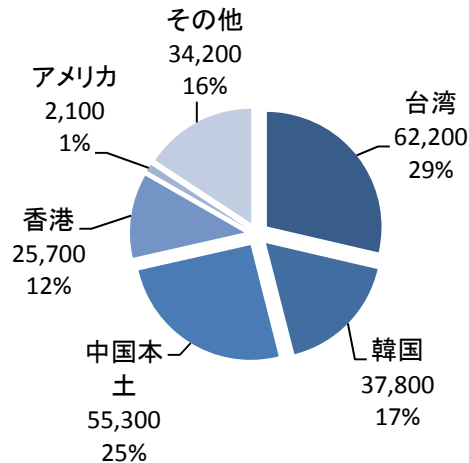
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	62,200 人	62,200 人	51,800 人	+ 10,400人	+20.1%	28.6%
韓国	37,800 人	37,800 人	21,300 人	+ 16,500人	+77.5%	17.4%
中国本土	55,300 人	55,300 人	40,700 人	+ 14,600人	+35.9%	25.4%
香港	25,700 人	25,700 人	23,000 人	+ 2,700人	+11.7%	11.8%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	1,200 人	+ 900人	+75.0%	1.0%
その他	34,200 人	8,000 人	25,000 人	+ 9,200人	+36.8%	15.7%
合計	217,300 人	191,100 人	163,000 人	+ 54,300人	+33.3%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,200 人	46,200 人	+22.9%	33.1%	16,000 人	16,000 人	+12.7%	20.6%
韓国	37,800 人	37,800 人	+77.5%	27.1%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	26,300 人	26,300 人	+18.5%	18.8%	29,000 人	29,000 人	+56.8%	37.3%
香港	21,800 人	21,800 人	+13.5%	15.6%	3,900 人	3,900 人	+2.6%	5.0%
アメリカ	1,800 人	1,800 人	+80.0%	1.3%	300 人	300 人	+50.0%	0.4%
その他	5,700 人	5,700 人	+35.7%	4.1%	28,500 人	2,300 人	+37.0%	36.7%
合計	139,600 人	139,600 人	+32.3%	100.0%	77,700 人	51,500 人	+35.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

7月は、各航空会社による深夜便を含む増便等に伴い、羽田－那覇及び離島ともに入込が増加したことや、引き続き、LCCが好調だったこと等から、前年を上回った。

8月は、夏休み旅行需要の高まりによる旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、各航空会社による深夜便やお盆期間の臨時便を含めた航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

7月は、各航空会社の早期予約割引や各旅行会社の販売状況が良好だったこと、引き続き、伊丹－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増や、離島方面が好調だったこと等から、前年を上回った。

8月は、比較的早い時期からお盆期間や離島方面の予約状況が好調なことや、夏後半の商品販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

7月は、個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、引き続き、LCCを含む福岡－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増等から、前年を上回った。

8月は、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

7月は、LCCや離島方面を中心に入込が好調だったことや、引き続き、スカイマークによる増便等、航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

8月は、夏休み旅行需要の高まりにより、個人や家族向け旅行商品の予約状況が良好なことに加えて、ANAの夏期増便を含む航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

7月は、V Airの台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

8月は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

7月は、他方面との競合が懸念されたものの、夏場の旅行需要に加え、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。

8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、9月は連休期間の那覇及び宮古へのチャーター便があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

7月は、夏場の旅行需要により、旅行商品の販売状況が良好だったことや、北京及び天津－那覇路線がいずれも好調だったこと等から、空路客を中心に増加し、前年を上回った。

8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、9月は中秋節の連休による旅行需要の高まりがあること等から、順調に増加する見込み。

中国本土・上海

7月は、個人向け旅行商品を中心に販売状況が良好だったことや、上海吉祥航空の南京－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

8月は、夏場の旅行需要に加えて、引き続き、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に順調に増加する見込み。

香港

7月は、香港エクスプレスの香港－石垣路線の増便を含む航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。

8月以降は、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港予定があること、9月は中秋節の連休による旅行需要の高まりがあること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

平成28年（2016）8月 入域観光客数概況

8月の観光客数は、92万6,900人
対前年（H27）同月比 +12万9,400人、+16.2%
～2ヶ月連続で単月の過去最高を更新、初の90万人台を記録～

入域状況

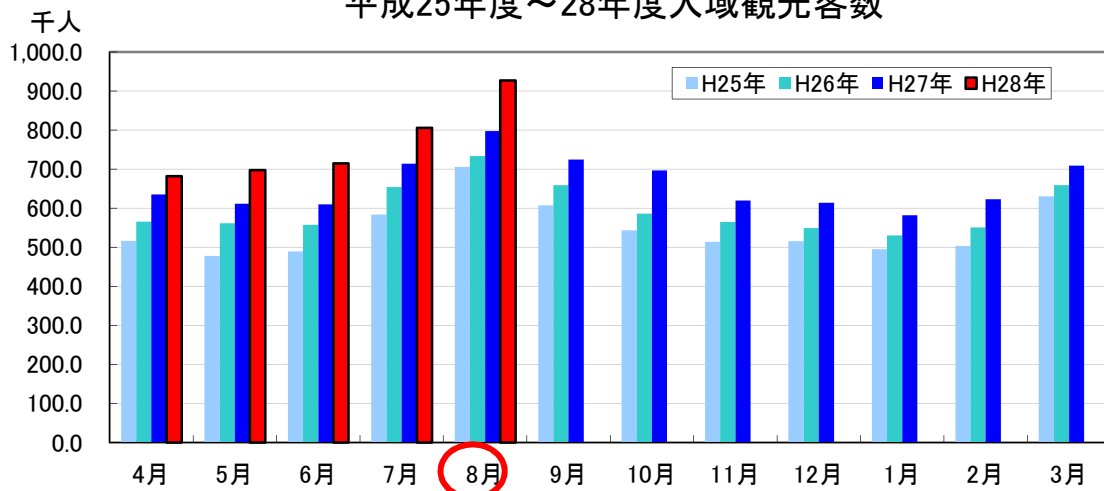
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	694,900 人	642,800 人	+ 52,100人	+ 8.1%	75.0%
外国客	232,000 人	154,700 人	+ 77,300人	+ 50.0%	25.0%
合計	926,900 人	797,500 人	+ 129,400人	+ 16.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	694,900 人	642,800 人	+ 52,100人	+ 8.1%	77.9%
外国客	197,300 人	139,400 人	+ 57,900人	+ 41.5%	22.1%
合計	892,200 人	782,200 人	+ 110,000人	+ 14.1%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

8月は、夏休み旅行需要の高まりにより、各航空会社及び旅行会社の販売状況が良好だったことや、各航空会社による深夜便やお盆期間を中心とした増便等、航空路線の拡充があったこと、台風の影響がほとんどなかったこと等から前年を上回り、単月の過去最高を記録した。

9月は、サマースケジュール期間中の航空路線の拡充が継続する中、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なこと等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

8月は、夏場の旅行需要に加え、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数が大幅に増加したこと等により、空路・海路客ともに順調に増加、前年を上回り、4ヶ月連続で単月の過去最高記録を更新した。

9月は、中秋節の連休による旅行需要に加えて、台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、引き続き、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	351,600 人	326,900 人	+ 24,700人	+ 7.6%	50.6%
関西方面	145,600 人	136,600 人	+ 9,000人	+ 6.6%	21.0%
福岡方面	80,200 人	73,300 人	+ 6,900人	+ 9.4%	11.5%
名古屋	54,800 人	48,400 人	+ 6,400人	+ 13.2%	7.9%
その他	62,700 人	57,600 人	+ 5,100人	+ 8.9%	9.0%
合計	694,900 人	642,800 人	+ 52,100人	+ 8.1%	100.0%

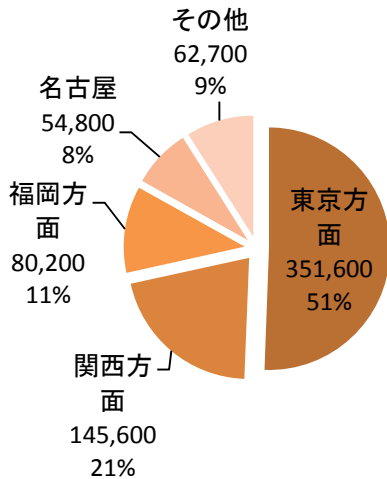
※国内海路客5,700人を含む(鹿児島4,900人、神戸600人、関西100人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

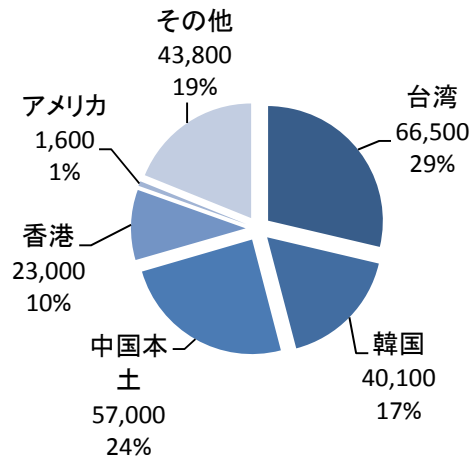
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	66,500 人	66,500 人	48,900 人	+ 17,600人	+36.0%	28.7%
韓国	40,100 人	40,100 人	25,400 人	+ 14,700人	+57.9%	17.3%
中国本土	57,000 人	57,000 人	38,900 人	+ 18,100人	+46.5%	24.6%
香港	23,000 人	23,000 人	19,100 人	+ 3,900人	+20.4%	9.9%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	1,000 人	+ 600人	+60.0%	0.7%
その他	43,800 人	9,100 人	21,400 人	+ 22,400人	+104.7%	18.9%
合計	232,000 人	197,300 人	154,700 人	+ 77,300人	+50.0%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	41,300 人	41,300 人	+10.4%	31.1%	25,200 人	25,200 人	+119.1%	25.4%
韓国	39,400 人	39,400 人	+55.1%	29.7%	700 人	700 人	皆増	0.7%
中国本土	25,200 人	25,200 人	+5.4%	19.0%	31,800 人	31,800 人	+112.0%	32.1%
香港	18,100 人	18,100 人	+7.7%	13.6%	4,900 人	4,900 人	+113.0%	4.9%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	+55.6%	1.1%	200 人	200 人	+100.0%	0.2%
その他	7,400 人	7,400 人	+32.1%	5.6%	36,400 人	1,700 人	+130.4%	36.7%
合計	132,800 人	132,800 人	+20.7%	100.0%	99,200 人	64,500 人	+121.9%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

8月は、夏休み旅行需要に加え、各航空会社による深夜便やお盆期間を中心とした増便等に伴い、羽田－那覇及び離島ともに入込が増加したこと等から、前年を上回った。
9月は、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充等から、堅調に推移する見込み。

大阪

8月は、家族向け旅行商品等の販売状況が良好だったこと、引き続き、伊丹－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増や、離島方面が好調だったこと等から、前年を上回った。
9月は、学生向け旅行商品市場の活性化や、離島を中心に予約状況が好調なこと、各旅行会社による販売の取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

8月は、各航空会社による個人旅行商品を中心に販売状況が良好だったことや、引き続き、LCCを含む福岡－那覇路線の提供座席数増に伴った入込増等から、前年を上回った。
9月は、各旅行会社による取り組み強化に伴った個人旅行商品の予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充等から、好調に推移する見込み。

名古屋

8月は、各航空会社による個人旅行商品等の販売状況が良好だったこと、JTAの新機材導入の宣伝効果に加えて、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
9月は、各旅行会社による取り組み強化に加えて、各航空会社の臨時便を含む航空路線の拡充等から、堅調に推移する見込み。

台湾

8月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
9月は、台風による影響が懸念されるものの、バニラ・エアの台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、引き続き、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

8月は、夏場の旅行需要の高まりによる、個人及び家族旅行が好調だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
9月は連休期間の那覇及び宮古へのチャーター便予約状況が好調なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

8月は、夏場の旅行需要や、各旅行社による旅行商品販売の取り組み強化、北京及び天津－那覇路線がいずれも好調だったこと等から、前年を上回った。
9月以降は、天津航空の運休による影響が懸念されるものの、中秋節や国慶節等の連休による旅行需要があること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

8月は、夏場の旅行需要や、個人客を中心に旅行商品の販売状況が良好だったこと、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。
9月は、中秋節の連休による旅行需要に加えて、引き続き、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港予定があること等から、海路客を中心に順調に増加する見込み。

香港

8月は、香港－石垣路線が好調だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
9月は、各旅行会社によるスポーツをテーマにした商品造成等の取り組みや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

平成28年（2016）9月 入域観光客数概況

9月の観光客数は、79万3,000人
対前年（H27）同月比 +6万8,300人、+9.4%
～9月の過去最高を更新、外国客は5ヶ月連続で20万人台を記録～

入域状況

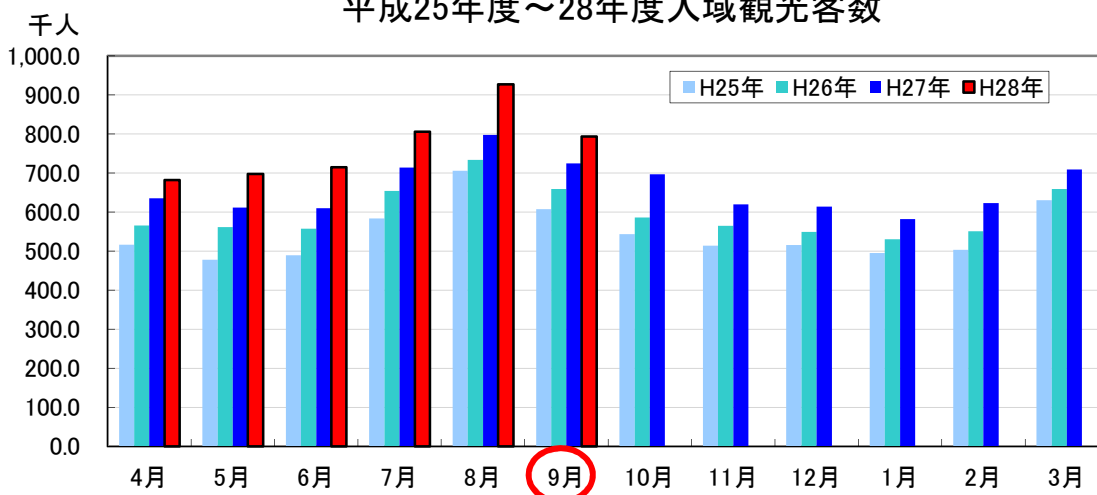
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	74.4%
外国客	203,400 人	149,600 人	+ 53,800人	+ 36.0%	25.6%
合計	793,000 人	724,700 人	+ 68,300人	+ 9.4%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	77.0%
外国客	175,900 人	132,800 人	+ 43,100人	+ 32.5%	23.0%
合計	765,500 人	707,900 人	+ 57,600人	+ 8.1%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

9月は、引き続き、羽田・伊丹・名古屋－那覇路線の増便等による航空路線の拡充があったことや、各旅行商品等の販売状況も良好だったこと等から、前年を上回った。

10月は、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

9月は、中秋節の連休による旅行需要に加え、台湾及び韓国を中心に前年同月に比べて航空路線の拡充があったことや、引き続き、クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

10月は、国慶節の連休による旅行需要に加えて、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港回数の増加が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	298,000 人	289,000 人	+ 9,000人	+ 3.1%	50.5%
関西方面	122,000 人	126,000 人	△ 4,000人	△ 3.2%	20.7%
福岡方面	71,100 人	71,400 人	△ 300人	△ 0.4%	12.1%
名古屋	46,100 人	40,700 人	+ 5,400人	+ 13.3%	7.8%
その他	52,400 人	48,000 人	+ 4,400人	+ 9.2%	8.9%
合計	589,600 人	575,100 人	+ 14,500人	+ 2.5%	100.0%

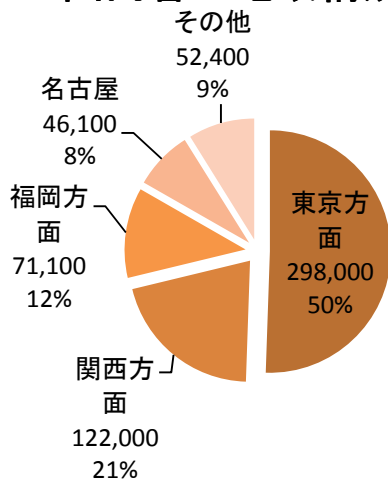
※国内海路客3,200人を含む(鹿児島2,100人、神戸400人、その他700人)

外国客 国籍別入域状況

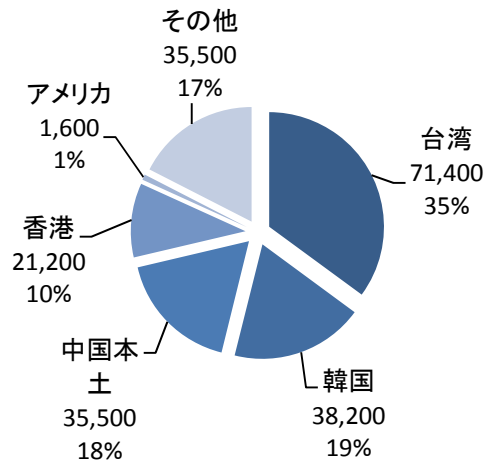
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	71,400 人	71,400 人	51,200 人	+ 20,200人	+39.5%	35.1%
韓国	38,200 人	38,200 人	23,700 人	+ 14,500人	+61.2%	18.8%
中国本土	35,500 人	35,500 人	33,600 人	+ 1,900人	+5.7%	17.5%
香港	21,200 人	21,200 人	18,800 人	+ 2,400人	+12.8%	10.4%
アメリカ	1,600 人	1,600 人	1,100 人	+ 500人	+45.5%	0.8%
その他	35,500 人	8,000 人	21,200 人	+ 14,300人	+67.5%	17.5%
合計	203,400 人	175,900 人	149,600 人	+ 53,800人	+36.0%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	46,400 人	46,400 人	+20.5%	36.4%	25,000 人	25,000 人	+96.9%	32.9%
韓国	37,800 人	37,800 人	+59.5%	29.7%	400 人	400 人	皆増	0.5%
中国本土	21,100 人	21,100 人	△5.8%	16.6%	14,400 人	14,400 人	+28.6%	18.9%
香港	16,400 人	16,400 人	+10.1%	12.9%	4,800 人	4,800 人	+23.1%	6.3%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+30.0%	1.0%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
その他	4,400 人	4,400 人	+15.8%	3.5%	31,100 人	3,600 人	+78.7%	40.9%
合計	127,400 人	127,400 人	+22.1%	100.0%	76,000 人	48,500 人	+67.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

9月は、深夜便等に伴う提供座席数の増加や、羽田－那覇及び宮古の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
10月は、各旅行社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

9月は、引き続き、伊丹－那覇路線は好調だったものの、関西及び神戸－那覇路線の提供座席数の減少があったこと等から、前年を下回った。
10月は、各旅行会社における旅行商品の予約状況が良好なことや、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

9月は、各航空会社による個人旅行商品の販売状況は良好だったものの、台風の影響に伴う一部キャンセル等があったことから、前年をやや下回った。
10月は、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあることや、修学旅行のシーズンに入ること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

9月は、各航空会社による航空路線の拡充に伴い、各旅行商品等の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。
10月は、各旅行会社における団体旅行の販売状況が良好なことや、名古屋(小牧)－宮古への直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

台湾

9月は台風による影響が懸念されたものの、バニラ・エアの台北－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充や、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
10月は、V Airの運休影響が懸念されるものの、国慶節による旅行需要や、引き続き、クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

韓国

9月は、台風の影響でソウル－宮古間の直行チャーター便1本がキャンセルとなったものの、各航空会社及び旅行社による販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
10月は個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、済州－那覇間の直行チャーター便が予定されていること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

9月は、中秋節の連休による旅行需要があったものの、他方面との競合や、天津航空や北京首都航空の瀋陽チャーターの運休による影響があったこと等から、前年をやや下回った。
10月は、引き続き、他方面との競合が懸念されるものの、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

中国本土・上海

9月は、中秋節の連休による旅行需要や、離島中心とした旅行商品の販売状況が良好だったこと、上海、厦門及び広州発クルーズ船の寄港があったこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。
10月は、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の予約状況が良好なこと、上海、広州及び舟山発クルーズ船の寄港予定があること等から、順調に増加する見込み。

香港

9月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、香港発クルーズ船の寄港があったこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
10月は、一部旅行会社による離島商品造成等の取り組みや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに好調に推移する見込み。

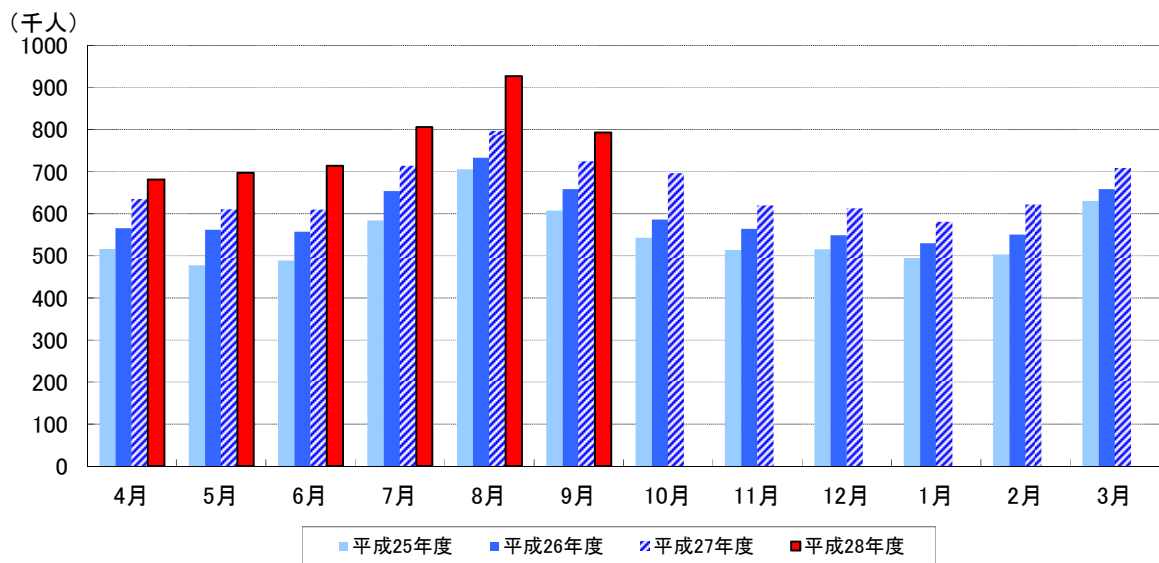
平成 28 年度上半期 沖縄県入域観光客統計概況

文化観光スポーツ部 観光政策課
平成 28 年 10 月発表

**平成 28 年度上半期は、461 万 8,700 人で過去最高を更新
対前年度 (H27) 比 +52 万 5,700 人、+12.8%**

入域観光客数（国内+外国）

■月別入域観光客数の推移（平成 25 年度～平成 28 年度）



■平成 28 年度上半期入域観光客の状況（平成 27 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成28年度	681,500	697,100	714,400	805,800	926,900	793,000	4,618,700
平成27年度	635,400	611,400	610,000	714,000	797,500	724,700	4,093,000
増減数	46,100	85,700	104,400	91,800	129,400	68,300	525,700
増減率	7.3%	14.0%	17.1%	12.9%	16.2%	9.4%	12.8%

■平成 28 年度上半期の概況（総括）

平成 28 年度上半期の入域観光客数は、461 万 8,700 人となり、対前年同期比で 52 万 5,700 人増加、率にして 12.8%増となった。月別では、7月に初の 80 万人台を記録したほか、8月には単月の過去最高を更新するなど好調に推移した。9月までに 48 か月連続で対前年同月を上回るとともに、35 か月連続で当該月の過去最高を上回る客数を記録した。

前年度上半期と比べて増加した主な要因は、次のとおりと考えられる。

- 官民一体となった誘客プロモーションの効果
- 国内航空路線の拡充
- 海外航空路線の拡充及びクルーズ船の寄港回数が増

国内観光客についての動向

■平成 28 年度上半期国内観光客の状況（平成 27 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成28年度	519,300	490,600	498,500	588,500	694,900	589,600	3,381,400
平成27年度	504,800	477,700	460,800	551,000	642,800	575,100	3,212,200
増減数	14,500	12,900	37,700	37,500	52,100	14,500	169,200
増減率	2.9%	2.7%	8.2%	6.8%	8.1%	2.5%	5.3%

■国内観光客の概況

昨年にと比べると台風の影響は少なかったこと、羽田－宮古路線の新規就航等を含む航空路線の拡充（※）に加えて、羽田・伊丹－那覇路線や羽田及び関西から離島への直行便も好調であったこと等から、各方面ともに堅調に推移している。

下半期は、景気はゆるやかな回復基調にあり、引き続き、航空路線の拡充が予定されていること等から、今後も堅調に推移することが期待できる。

※新規就航のあった路線：羽田－宮古、成田－那覇、茨城－那覇、岩国－那覇路線

主な増便のあった路線：羽田－那覇、伊丹－那覇、福岡－那覇、名古屋－那覇路線

外国人観光客についての動向

■平成 28 年度上半期外国人観光客の状況（平成 27 年度との比較）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上半期計
平成28年度	162,200	206,500	215,900	217,300	232,000	203,400	1,237,300
平成27年度	130,600	133,700	149,200	163,000	154,700	149,600	880,800
増減数	31,600	72,800	66,700	54,300	77,300	53,800	356,500
増減率	24.2%	54.5%	44.7%	33.3%	50.0%	36.0%	40.5%

■外国人観光客の概況

昨年から引き続き、訪日旅行人気が続いていることに加え、沖縄発着航空路線が拡充（※）したことや、クルーズ船寄港回数が大幅に増加したこと等が、沖縄への入込増加の主な要因とみられる。とりわけ、5月から8月まで4ヶ月連続で単月の過去最高を上回る客数を更新した。国籍別では、中国や韓国の伸びが顕著となっている。

下半期は、引き続き、クルーズ船の寄港回数増が予定されていること等から、前年度以上の入込が期待できる。

※新規就航のあった路線：台北－那覇、ソウル－那覇、南京－那覇、香港－石垣路線

主な増便のあった路線：台北－那覇、ソウル・釜山－那覇路線

平成28年（2016）10月 入域観光客数概況

10月の観光客数は、76万7,900人
対前年（H27）同月比 +7万1,100人、+10.2%
～10月の過去最高を更新、外国海路客は前年度合計を上回った～

入域状況

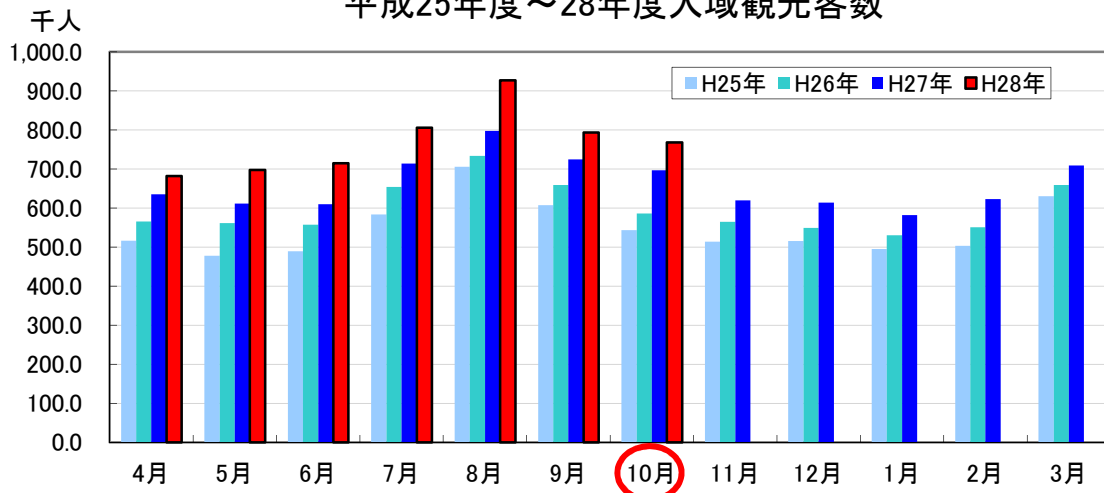
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	74.6%
外国客	194,700 人	145,100 人	+ 49,600人	+ 34.2%	25.4%
合計	767,900 人	696,800 人	+ 71,100人	+ 10.2%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	77.0%
外国客	171,100 人	127,800 人	+ 43,300人	+ 33.9%	23.0%
合計	744,300 人	679,500 人	+ 64,800人	+ 9.5%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

10月は、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、離島及びLCC等の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。

11月は、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

10月は、国慶節の連休に伴った旅行商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、台湾及び韓国を中心に前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと、クルーズ船の寄港回数が増加したことにより、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

11月は、冬場に入りクルーズ船は落ち着くものの、下旬に韓国・釜山ー那覇路線における運行再開があることや、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	292,000 人	279,300 人	+ 12,700人	+ 4.5%	50.9%
関西方面	110,500 人	107,600 人	+ 2,900人	+ 2.7%	19.3%
福岡方面	70,100 人	69,400 人	+ 700人	+ 1.0%	12.2%
名古屋	46,700 人	43,400 人	+ 3,300人	+ 7.6%	8.1%
その他	53,900 人	52,000 人	+ 1,900人	+ 3.7%	9.4%
合計	573,200 人	551,700 人	+ 21,500人	+ 3.9%	100.0%

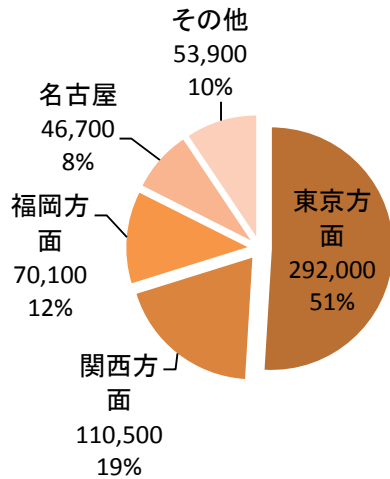
※国内海路客3,000人を含む(鹿児島2,600人、大阪100人、神戸100人、その他200人)

外国客 国籍別入域状況

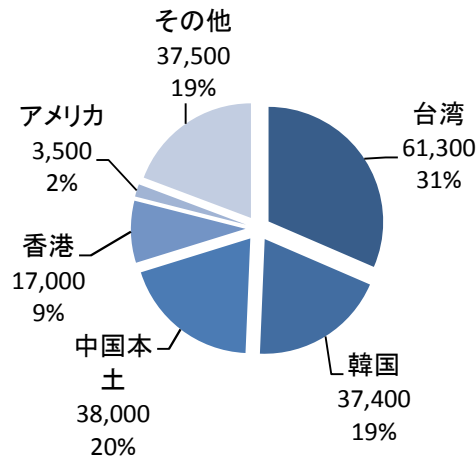
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	61,300 人	61,300 人	48,400 人	+ 12,900人	+26.7%	31.5%
韓国	37,400 人	37,400 人	27,000 人	+ 10,400人	+38.5%	19.2%
中国本土	38,000 人	38,000 人	26,100 人	+ 11,900人	+45.6%	19.5%
香港	17,000 人	17,000 人	16,200 人	+ 800人	+4.9%	8.7%
アメリカ	3,500 人	3,500 人	1,400 人	+ 2,100人	+150.0%	1.8%
その他	37,500 人	13,900 人	26,000 人	+ 11,500人	+44.2%	19.3%
合計	194,700 人	171,100 人	145,100 人	+ 49,600人	+34.2%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	43,500 人	43,500 人	+19.2%	35.2%	17,800 人	17,800 人	+49.6%	25.0%
韓国	37,100 人	37,100 人	+37.9%	30.0%	300 人	300 人	+200.0%	0.4%
中国本土	19,900 人	19,900 人	△1.0%	16.1%	18,100 人	18,100 人	+201.7%	25.5%
香港	14,700 人	14,700 人	+5.8%	11.9%	2,300 人	2,300 人	+0.0%	3.2%
アメリカ	2,400 人	2,400 人	+118.2%	1.9%	1,100 人	1,100 人	+266.7%	1.5%
その他	6,000 人	6,000 人	+25.0%	4.9%	31,500 人	7,900 人	+48.6%	44.3%
合計	123,600 人	123,600 人	+19.7%	100.0%	71,100 人	47,500 人	+70.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

10月は、羽田－那覇及び宮古路線や、成田発LCCの入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
11月は、前年同月に比べて航空路線の拡充や、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

大阪

10月は、伊丹－那覇や、関西－宮古・石垣の離島路線の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
11月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

10月は、各航空会社による個人旅行商品を中心に販売状況が良好だったこと等から、前年を上回った。
11月は、個人・団体旅行の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

10月は、各航空会社による航空路線の拡充や、LCC等の入込が好調だったこと等から、前年を上回った。
11月は、団体旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

10月は国慶節による旅行需要や、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充や、引き続き、定期クルーズ船の寄港回数が増加したこと等により、空路・海路客ともに増加し、前年を上回った。
11月は、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

10月は、個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充等により、空路客を中心に前年を上回った。
11月は、他方面との競合が懸念されるものの、各航空会社による販売取り組み強化の動きがあることや、下旬にはチェジュ航空の釜山－那覇路線の運行再開の予定があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

10月は、国慶節による旅行需要があったものの、他方面との競合や、航空路線の減便による影響があったこと等から、前年をやや下回った。
11月は、中国国際航空の天津－那覇路線の運休が懸念されるものの、北京－那覇路線の便数が継続されること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

10月は、国慶節による旅行需要に伴った旅行商品の販売状況が好調だったことや、上海、厦門、広州及び舟山発クルーズ船の寄港があったこと等により、海路客を中心に増加し、前年を上回った。
11月は、南京－那覇路線の増便があること等、前年同月に比べて航空路線の拡充があることから、堅調に推移する見込み。

香港

10月は、個人旅行を中心に好調だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充や香港発クルーズ船の寄港が同じ回数あったこと等により、空路客を中心に増加し、前年を上回った。
11月は、各旅行会社による離島やスポーツ関連商品造成等の取り組みがあることや、引き続き、香港発クルーズ船の寄港予定があること等から、好調に推移する見込み。

平成28年（2016）11月 入域観光客数概況

11月の観光客数は、65万200人
対前年（H27）同月比 +3万600人、+4.9%
～11月の過去最高を更新、50ヶ月連続で前年同月を上回った～

入域状況

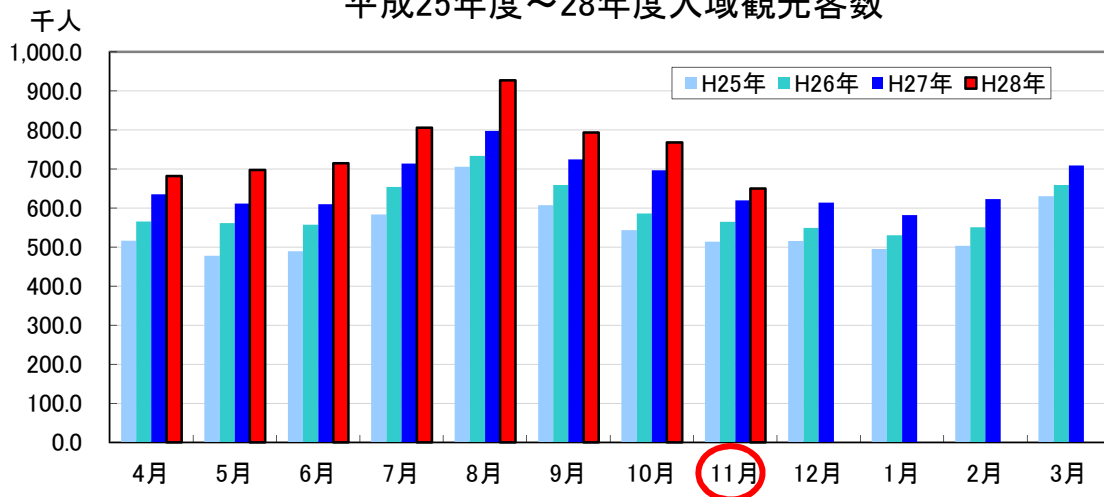
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	83.1%
外国客	110,200 人	113,400 人	△ 3,200人	△ 2.8%	16.9%
合計	650,200 人	619,600 人	+ 30,600人	+ 4.9%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	84.0%
外国客	103,100 人	101,000 人	+ 2,100人	+ 2.1%	16.0%
合計	643,100 人	607,200 人	+ 35,900人	+ 5.9%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

11月は、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、冬季の運航計画において、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開や、販売取り組み強化の動きがあること、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

11月は、今年度に入って、新規就航等による航空路線の拡充が継続している台湾・韓国を中心に空路客が増加したものの、海路客は、冬場に入りクルーズ船の寄港回数が減ったこと等により、中国を中心に減少し、全体として平成25年7月以来、3年4ヶ月ぶりに前年を下回った。

また、シンガポールー那覇間チャーター便が好調で、同国からの入込増加に寄与した。

12月は、韓国・釜山ー那覇路線の増便があることや、引き続き、シンガポールー那覇間チャーター便が予定されていること等により、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	267,100 人	248,200 人	+ 18,900人	+ 7.6%	49.5%
関西方面	104,000 人	98,400 人	+ 5,600人	+ 5.7%	19.3%
福岡方面	71,100 人	67,600 人	+ 3,500人	+ 5.2%	13.2%
名古屋	46,100 人	40,700 人	+ 5,400人	+ 13.3%	8.5%
その他	51,700 人	51,300 人	+ 400人	+ 0.8%	9.6%
合計	540,000 人	506,200 人	+ 33,800人	+ 6.7%	100.0%

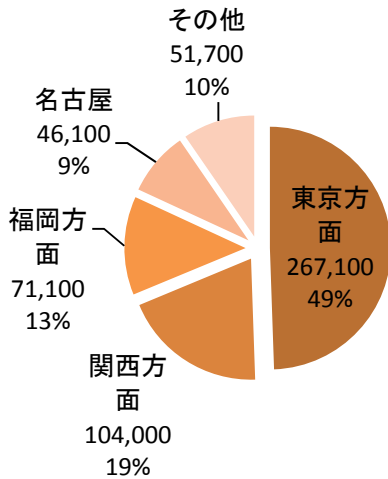
※国内海路客2,700人を含む(鹿児島2,000人、横浜700人)

外国客 国籍別入域状況

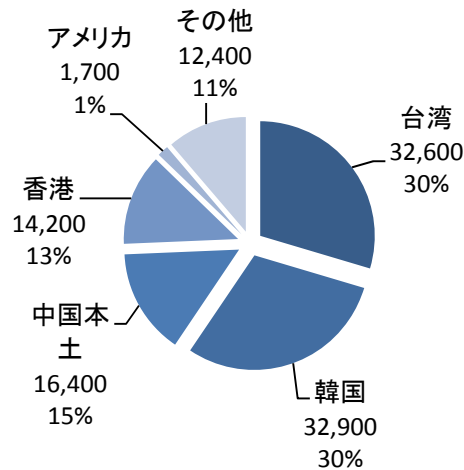
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	32,600 人	32,600 人	30,400 人	+ 2,200人	+7.2%	29.6%
韓国	32,900 人	32,900 人	26,900 人	+ 6,000人	+22.3%	29.9%
中国本土	16,400 人	16,400 人	22,200 人	△ 5,800人	△26.1%	14.9%
香港	14,200 人	14,200 人	12,800 人	+ 1,400人	+10.9%	12.9%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	2,100 人	△ 400人	△19.0%	1.5%
その他	12,400 人	5,300 人	19,000 人	△ 6,600人	△34.7%	11.3%
合計	110,200 人	103,100 人	113,400 人	△ 3,200人	△2.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	24,600 人	24,600 人	+15.5%	27.4%	8,000 人	8,000 人	△12.1%	39.0%
韓国	32,900 人	32,900 人	+22.3%	36.7%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	12,600 人	12,600 人	△2.3%	14.0%	3,800 人	3,800 人	△59.1%	18.5%
香港	13,000 人	13,000 人	+1.6%	14.5%	1,200 人	1,200 人	皆増	5.9%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+30.8%	1.9%	0 人	0 人	皆減	0.0%
その他	4,900 人	4,900 人	△7.5%	5.5%	7,500 人	400 人	△45.3%	36.6%
合計	89,700 人	89,700 人	+11.4%	100.0%	20,500 人	13,400 人	△37.7%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

11月は、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が大幅に増加したことや、旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開・販売取り組み強化の動きや、各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

11月は、修学旅行が良好であったことや、伊丹及び神戸－那覇や、関西－宮古路線の入込が伸びたこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

11月は、各旅行会社において個人・団体ともに旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

12月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、九州各地域からの宮古直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

11月は、各旅行会社において団体を中心とした旅行商品の販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

12月は、年末年始の旅行需要の高まりに加えて、団体旅行を中心に予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

11月は、復興航空の台北－那覇路線の運休や、冬場に入ってクルーズ船の寄港回数が減ったものの、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線が拡充したこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

12月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

11月は、個人旅行商品の販売状況が良好だったことや、チェジュ航空の釜山－那覇路線再開を含む航空路線の拡充等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

12月は、国内情勢の影響が懸念されるものの、冬休みの旅行需要の高まりに加えて、各航空会社による販売取り組み強化の動きがあることや、アジアナ航空及びジンエアーの釜山－那覇路線の増便があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

11月は、他方面との競合や、天津－那覇路線の欠航を含む航空路線の縮小による影響があったこと等から、前年を下回った。

12月以降は、正月の旅行需要の高まりや、1月から中国国際航空の天津－那覇路線の運航再開が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

11月は、個人旅行商品の販売状況は良好だったものの、冬場に入ってクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

12月以降は、他方面との競合が懸念されるものの、正月の旅行需要の高まりや、上海及び舟山発クルーズ船の寄港予定があること等から、堅調に推移する見込み。

香港

11月は、個人旅行を中心に良好だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充や香港発クルーズ船の寄港があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

12月以降は、クリスマス・正月の旅行需要の高まりや、ホエールウォッチング等のオプション付き旅行商品販売が良好であること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

平成28年（2016）12月 入域観光客数概況

12月の観光客数は、66万3,000人
対前年（H27）同月比 +4万9,400人、+8.1%
～12月の過去最高を更新、国内客の伸びが全体を牽引した～

入域状況

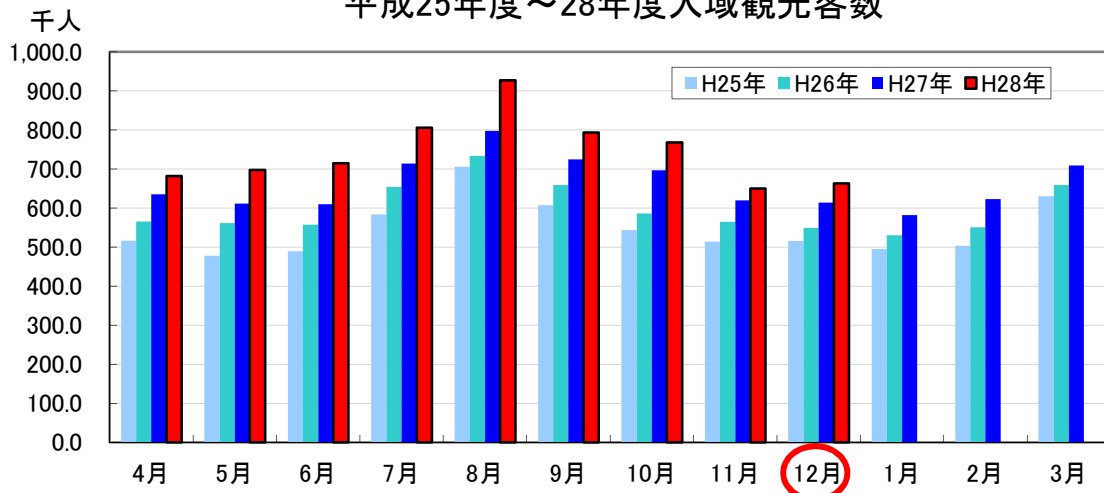
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	79.3%
外国客	137,200 人	128,300 人	+ 8,900人	+ 6.9%	20.7%
合計	663,000 人	613,600 人	+ 49,400人	+ 8.1%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	80.7%
外国客	125,800 人	115,200 人	+ 10,600人	+ 9.2%	19.3%
合計	651,600 人	600,500 人	+ 51,100人	+ 8.5%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

12月は、年末年始の旅行需要増に加えて、各旅行会社における旅行商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なこと、各旅行会社による旅行商品販売取り組み強化の動きがあることや、引き続き、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

12月は、海路客は、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等により、中国及び香港で減少したものの、航空路線の拡充があった韓国を中心に空路客が増加したことにより、全体としては前年を上回った。また、先月に引き続き、シンガポールー那覇間チャーター便が好調で、同国からの入込増加に寄与した。

1月以降は、春節（旧正月）の旅行需要増に加えて、2月には新規路線となるタイ・バンコクー那覇間の新規就航が予定されていること等により、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	259,600 人	236,800 人	+ 22,800人	+ 9.6%	49.4%
関西方面	104,400 人	98,000 人	+ 6,400人	+ 6.5%	19.9%
福岡方面	69,000 人	64,900 人	+ 4,100人	+ 6.3%	13.1%
名古屋	43,900 人	39,100 人	+ 4,800人	+ 12.3%	8.3%
その他	48,900 人	46,500 人	+ 2,400人	+ 5.2%	9.3%
合計	525,800 人	485,300 人	+ 40,500人	+ 8.3%	100.0%

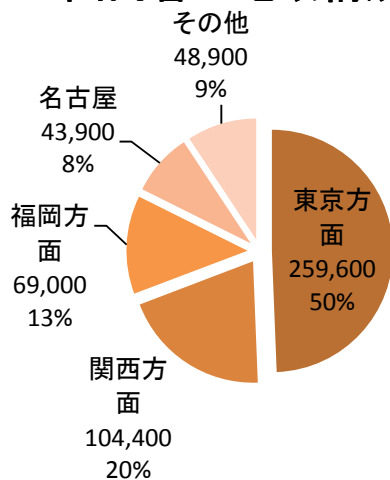
※国内海路客2,500人を含む(鹿児島2,400人、関西100人)

外国客 国籍別入域状況

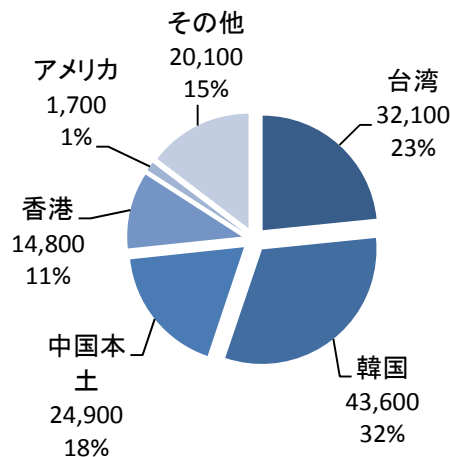
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	32,100 人	32,100 人	24,000 人	+ 8,100人	+33.8%	23.4%
韓国	43,600 人	43,600 人	35,100 人	+ 8,500人	+24.2%	31.8%
中国本土	24,900 人	24,900 人	29,800 人	△ 4,900人	△16.4%	18.1%
香港	14,800 人	14,800 人	16,000 人	△ 1,200人	△7.5%	10.8%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	1,700 人	△ 0人	+0.0%	1.2%
その他	20,100 人	8,700 人	21,700 人	△ 1,600人	△7.4%	14.7%
合計	137,200 人	125,800 人	128,300 人	+ 8,900人	+6.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	24,200 人	24,200 人	+35.2%	22.7%	7,900 人	7,900 人	+29.5%	25.7%
韓国	43,600 人	43,600 人	+24.2%	40.9%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	14,200 人	14,200 人	△4.7%	13.3%	10,700 人	10,700 人	△28.2%	34.9%
香港	14,800 人	14,800 人	+8.0%	13.9%	0 人	0 人	皆減	0.0%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+13.3%	1.6%	0 人	0 人	皆減	0.0%
その他	8,000 人	7,900 人	+17.6%	7.5%	12,100 人	800 人	△18.8%	39.4%
合計	106,500 人	106,400 人	+18.5%	100.0%	30,700 人	19,400 人	△20.1%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

12月は、年末年始の旅行需要増に加えて、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が増加したことや、旅行商品の販売状況が好調だったこと等から、前年を上回った。

1月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

12月は、各旅行会社において旅行商品の販売状況が好調であったことや、伊丹及び神戸那覇路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

12月は、各旅行会社において個人・団体ともに旅行商品の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

12月は、各旅行会社において団体を中心とした旅行商品の販売状況が良好だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

1月は、団体旅行を中心に予約状況が良好なこと、各旅行会社の連携による沖縄PRの展開・販売取り組み強化の動きや、引き続き、前年同月に比べて航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

12月は、スポーツ関連旅行商品等の販売状況が好調だったことに加えて、引き続き、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充や、クルーズ船の寄港があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

1月は、春節時期の旅行需要の高まりに加えて、引き続き、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港予定があること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

12月は、個人旅行商品の販売状況が良好だったことや、アジアナ航空及びジンエアーの釜山－那覇路線の増便があったこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。

1月は、旧正月時期の旅行需要の高まりに加えて、各航空会社による販売取り組み強化の動きや、引き続き、航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

12月は、他方面との競合があったことや、先月に引き続き、中国国際航空の天津－那覇路線の欠航を含む航空路線の縮小による影響があったこと等から、前年を下回った。

1月は、春節時期の旅行需要の高まりに加えて、天津－那覇路線の運航再開が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

12月は、中国東方航空の杭州－那覇路線の欠航による影響があったこと、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

1月以降は、春節時期の旅行需要に伴う青島－那覇間のチャーター便や、1月中旬から杭州－那覇路線の運航再開が予定されていること、2月からは上海及び広州発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

12月は、個人旅行を中心に良好だったこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、空路客は増加したものの、前年に寄港していた香港発大型クルーズ船の寄港が今回なかったことから、海路客で皆減となり、全体としては前年を下回った。

1月は、春節時期の旅行需要に伴う香港－那覇間のチャーター便や、オプション付き旅行商品販売が良好であること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

担当：沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課 川上(カワカミ) TEL 098-866-2763

平成29年（2017）1月 入域観光客数概況

1月の観光客数は、65万3,000人
対前年（H28）同月比 +7万1,400人、+12.3%
～1月の過去最高を更新、国内客は1月初の50万人超～

入域状況

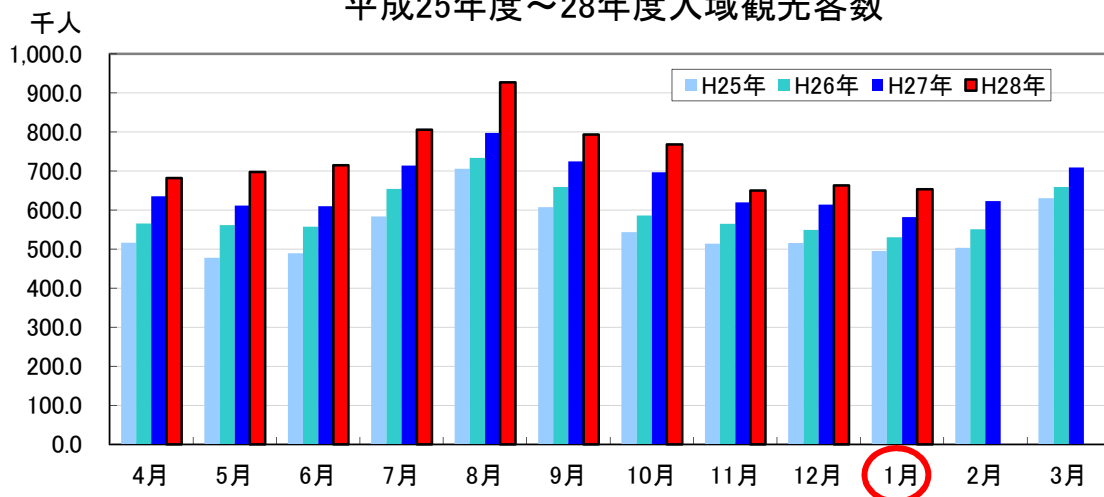
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	77.5%
外国客	147,200 人	114,900 人	+ 32,300人	+ 28.1%	22.5%
合計	653,000 人	581,600 人	+ 71,400人	+ 12.3%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	78.5%
外国客	138,900 人	110,600 人	+ 28,300人	+ 25.6%	21.5%
合計	644,700 人	577,300 人	+ 67,400人	+ 11.7%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

1月は、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が好調だったことや、引き続き、各航空会社による航空路線の拡充が夏季から継続していること等から、前年を上回った。

2月は、祝日が土曜日となり連休がなかったものの、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、各航空会社における予約状況が良好なことや、引き続き、航空路線の拡充が継続すること等から、堅調に推移する見込み。

外国客 入域状況

1月は、春節（旧正月）時期の旅行需要に伴う各主要国・地域から各航空会社によるチャーター便や前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと、定期クルーズ船の寄港があった台湾を中心に海路客が増加したこと等により、空路・海路客ともに前年を上回った。

2月は、個人旅行を中心とした旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬からは新規路線となるタイ・バンコク～那覇間の新規就航を含む航空路線の拡充が予定されていること等により、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	250,500 人	228,700 人	+ 21,800人	+ 9.5%	49.5%
関西方面	100,300 人	93,600 人	+ 6,700人	+ 7.2%	19.8%
福岡方面	66,100 人	62,100 人	+ 4,000人	+ 6.4%	13.1%
名古屋	41,600 人	37,300 人	+ 4,300人	+ 11.5%	8.2%
その他	47,300 人	45,000 人	+ 2,300人	+ 5.1%	9.4%
合計	505,800 人	466,700 人	+ 39,100人	+ 8.4%	100.0%

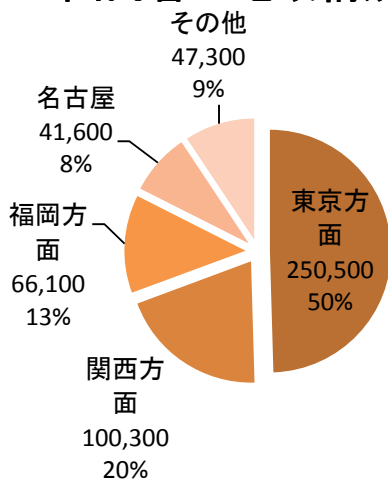
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島2,800人)

外国客 国籍別入域状況

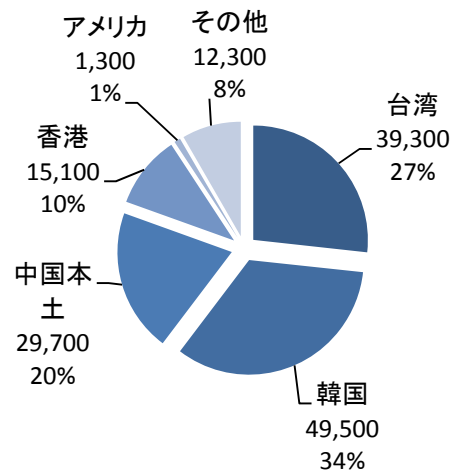
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	39,300 人	39,300 人	22,600 人	+ 16,700人	+73.9%	26.7%
韓国	49,500 人	49,500 人	43,200 人	+ 6,300人	+14.6%	33.6%
中国本土	29,700 人	29,700 人	28,800 人	+ 900人	+3.1%	20.2%
香港	15,100 人	15,100 人	11,600 人	+ 3,500人	+30.2%	10.3%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	1,000 人	+ 300人	+30.0%	0.9%
その他	12,300 人	4,000 人	7,700 人	+ 4,600人	+59.7%	8.4%
合計	147,200 人	138,900 人	114,900 人	+ 32,300人	+28.1%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	32,000 人	32,000 人	+53.1%	25.5%	7,300 人	7,300 人	+329.4%	34.0%
韓国	49,500 人	49,500 人	+14.8%	39.4%	0 人	0 人	皆減	0.0%
中国本土	24,200 人	24,200 人	+18.6%	19.3%	5,500 人	5,500 人	△34.5%	25.6%
香港	14,800 人	14,800 人	+27.6%	11.8%	300 人	300 人	皆増	1.4%
アメリカ	1,300 人	1,300 人	+30.0%	1.0%	0 人	0 人	—	0.0%
その他	3,900 人	3,900 人	+18.2%	3.1%	8,400 人	100 人	+90.9%	39.1%
合計	125,700 人	125,700 人	+25.3%	100.0%	21,500 人	13,200 人	+47.3%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

1月は、個人旅行を中心に旅行商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社による羽田及び成田路線の提供座席数が増加したこと等から、前年を上回った。
2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

大阪

1月は、各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が良好だったことや、伊丹－那覇及び関西－離島路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。
2月は、祝日が土曜日となり連休がなかったものの、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取り組み強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

1月は、各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、LCCが好調に推移したこと、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、引き続き、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

1月は、各航空会社と旅行会社が連携した各種旅行商品等の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、スポーツキャンプ見学や学生旅行等の需要の高まりに加えて、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、名古屋－宮古間の直行チャーター便が予定されていること、引き続き、航空路線の拡充があること等から、好調に推移する見込み。

台湾

1月は、春節時期の旅行需要に加えて、団体旅行の販売状況が好調だったことや、定期クルーズ船の寄港があったこと、前年同月に比べて台北－那覇路線の航空路線の拡充があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。
2月は、タイガーエア台湾の台北－那覇路線の増便による航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

韓国

1月は、冬場暖かい沖縄でサイクリングイベントが人気だったことに加えて、旧正月時期の旅行需要に伴い個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。
2月は、韓国プロ野球キャンプ見学や個人向け旅行商品の予約状況が良好なこと、引き続き、航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に順調に増加する見込み。

中国本土・北京

1月は、春節時期の旅行需要に伴い個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、中国国際航空の天津－那覇路線が運航再開したこと等から、前年を上回った。
2月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

1月は、前年に比べて上海発クルーズ船の寄港回数が減ったことから、海路客で減少したものの、家族旅行を中心に販売状況が好調だったことや、中国東方航空の杭州－那覇路線が運航再開したこと等から、空路客は増加、全体としては前年を上回った。
2月は、各航空会社の予約状況が良好なことや、上海及び広州発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

1月は、春節時期の旅行需要に伴う香港－那覇間のチャーター便や、前年同月に比べて航空路線の拡充があったこと等から、空路客を中心に増加、前年を上回った。
2月は、冬場のホエールウォッチングや桜祭り等の人気の高まりに加えて、オプション付き旅行商品の予約状況が良好なこと等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

平成29年（2017）2月 入域観光客数概況

2月の観光客数は、63万7,900人
対前年（H28）同月比 +1万5,400人、+2.5%
～2月の過去最高を更新、累計で前年度の実績を上回った～

入域状況

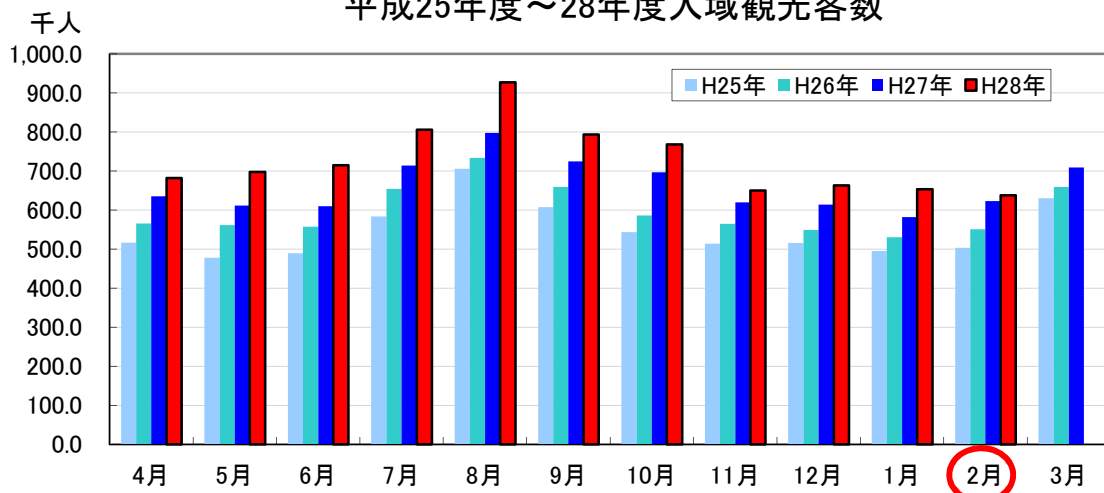
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	77.4%
外国客	144,100 人	149,900 人	△ 5,800人	△ 3.9%	22.6%
合計	637,900 人	622,500 人	+ 15,400人	+ 2.5%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	78.5%
外国客	134,900 人	133,800 人	+ 1,100人	+ 0.8%	21.5%
合計	628,700 人	606,400 人	+ 22,300人	+ 3.7%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において離島路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

3月以降は、春休みによる旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なことや、下旬からの夏季運航期間において航空路線の拡充が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

2月は、新規就航を含む航空路線の拡充があった台湾・韓国及びタイを中心に空路客が増加したものの、春節（旧正月）の旅行需要が2月から1月に早まったことや、前年に比べてクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、中国及び香港を中心に減少し、全体として3ヶ月ぶりに前年を下回った。

3月以降は、3月に台湾・高雄－那覇路線、4月に韓国・大邱及び中国・西安－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充があること等から、空路客を中心に好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	241,400 人	225,400 人	+ 16,000人	+ 7.1%	48.9%
関西方面	97,200 人	95,500 人	+ 1,700人	+ 1.8%	19.7%
福岡方面	64,900 人	65,300 人	△ 400人	△ 0.6%	13.1%
名古屋	43,600 人	41,000 人	+ 2,600人	+ 6.3%	8.8%
その他	46,700 人	45,400 人	+ 1,300人	+ 2.9%	9.5%
合計	493,800 人	472,600 人	+ 21,200人	+ 4.5%	100.0%

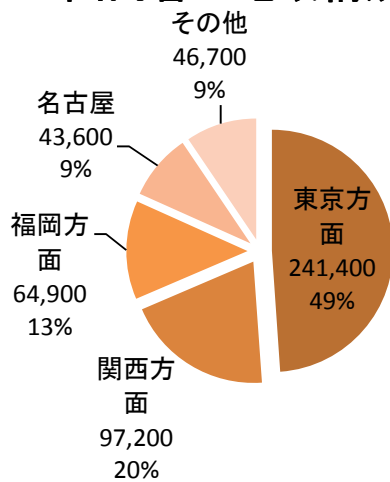
※国内海路客1,700人を含む(鹿児島1,600人、大阪100人)

外国客 国籍別入域状況

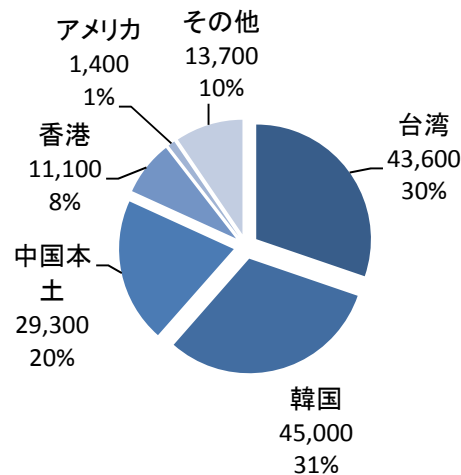
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	43,600 人	43,600 人	31,800 人	+ 11,800人	+37.1%	30.3%
韓国	45,000 人	45,000 人	39,200 人	+ 5,800人	+14.8%	31.2%
中国本土	29,300 人	29,300 人	43,600 人	△ 14,300人	△32.8%	20.3%
香港	11,100 人	11,100 人	14,000 人	△ 2,900人	△20.7%	7.7%
アメリカ	1,400 人	1,400 人	1,200 人	+ 200人	+16.7%	1.0%
その他	13,700 人	4,500 人	20,100 人	△ 6,400人	△31.8%	9.5%
合計	144,100 人	134,900 人	149,900 人	△ 5,800人	△3.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	33,700 人	33,700 人	+43.4%	29.5%	9,900 人	9,900 人	+19.3%	33.1%
韓国	45,000 人	45,000 人	+14.8%	39.4%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	19,500 人	19,500 人	△13.7%	17.1%	9,800 人	9,800 人	△53.3%	32.8%
香港	10,900 人	10,900 人	△10.7%	9.5%	200 人	200 人	△88.9%	0.7%
アメリカ	1,000 人	1,000 人	+0.0%	0.9%	400 人	400 人	+100.0%	1.3%
その他	4,100 人	4,100 人	+28.1%	3.6%	9,600 人	400 人	△43.2%	32.1%
合計	114,200 人	114,200 人	+12.3%	100.0%	29,900 人	20,700 人	△38.0%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

2月は、スポーツキャンプ見学や桜祭り等各種イベントが多く、各旅行会社における旅行商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において羽田－離島及び成田路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みによる旅行需要の高まりに加えて、各航空会社における予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

2月は、スポーツキャンプ見学や各航空会社において個人旅行を中心に販売状況が良好だったこと、伊丹－那覇及び関西－宮古路線を中心に入込が増加したこと等から、前年を上回った。

3月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、下旬にはスカイマークによる神戸－那覇路線の増便が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

福岡

2月は、各航空会社における個人旅行商品の販売状況やLCCは好調を維持したものの、各旅行会社における旅行商品の販売状況が低調だったことや、前年同月に比べて提供座席数が減となったこと等から、前年をやや下回った。

3月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

2月は、スポーツキャンプ見学や個人を中心に旅行商品の販売状況が良好だったこと、名古屋－宮古間の直行チャーター便も好調だったこと等から、前年を上回った。

3月は、春休みの学生旅行等の需要の高まりに加えて、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、引き続き、名古屋－宮古間の直行チャーター便が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

台湾

2月は、個人旅行を中心に販売状況が好調だったことや、定期クルーズ船の寄港があったこと、タイガーエア台湾の台北－那覇路線の増便を含む航空路線の拡充があったこと等から、空路・海路客ともに増加、前年を上回った。

3月は、タイガーエア台湾の高雄－那覇路線の新規就航や、引き続き、定期クルーズ船の寄港が予定されていること等から、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

2月は、韓国プロ野球キャンプ見学や春休みの旅行需要に伴いオプション付き旅行商品の販売状況が好調だったことや、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

3月以降は、国内情勢の影響が懸念されるものの、4月に、ティーウェイ航空の大邱－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

2月は、各旅行社による旅行商品の販売強化の動きがあったものの、春節時期の旅行需要が2月から1月に早まったこと等から、前年を下回った。

3月以降は、天津発クルーズ船の寄港が予定されていることや、4月に、中国東方航空の西安－那覇路線の新規就航が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

2月は、春節時期の旅行需要が2月から1月に早まったことや、前年に比べて大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、空路・海路客ともに減少、前年を下回った。

3月は、個人旅行を中心に予約状況が良好なことや、上海、広州及び深圳発クルーズ船の寄港が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

2月は、冬場のオフシーズンであったことや、前年に比べて香港発クルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、空路・海路客ともに減少、前年を下回った。

3月は、香港エクスプレスによる香港からの直行便が就航している石垣を中心としたオプション付き旅行商品の予約状況が良好なことや、下旬には同路線の増便が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

平成29年（2017）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、77万8,500人
対前年（H28）同月比 +6万9,300人、+9.8%
～3月の過去最高更新、年度は876万9,200人で4年連続過去最高～

入域状況

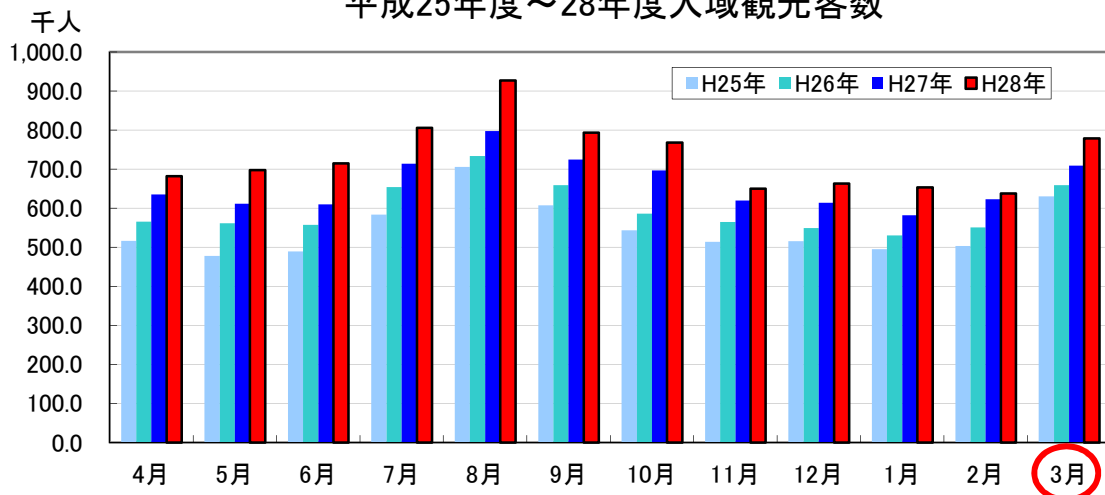
入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	79.7%
外国客	158,400 人	137,900 人	+ 20,500人	+ 14.9%	20.3%
合計	778,500 人	709,200 人	+ 69,300人	+ 9.8%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成27年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
国内客	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	81.0%
外国客	145,100 人	121,700 人	+ 23,400人	+ 19.2%	19.0%
合計	765,200 人	693,000 人	+ 72,200人	+ 10.4%	100.0%

平成25年度～28年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要があり、個人旅行を中心に各種商品の販売状況が良好だったことや、各航空会社において離島路線を中心に入込が好調を維持したこと等から、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、夏期運航期間において路線の拡充による提供座席数の増加が見込まれることから、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、高雄－那覇路線の新規就航など航空路線の拡充があった台湾・韓国を中心に空路客が増加したものの、前年に比べて大型クルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、中国及び香港は前年を下回った。

4月以降は、韓国・大邱及び中国・西安－那覇路線の新規就航を含む航空路線の拡充があることや、クルーズ船の寄港増が予定されていること等から、好調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	301,500 人	271,500 人	+ 30,000人	+ 11.0%	48.6%
関西方面	126,900 人	119,400 人	+ 7,500人	+ 6.3%	20.5%
福岡方面	79,600 人	76,300 人	+ 3,300人	+ 4.3%	12.8%
名古屋	52,700 人	47,000 人	+ 5,700人	+ 12.1%	8.5%
その他	59,400 人	57,100 人	+ 2,300人	+ 4.0%	9.6%
合計	620,100 人	571,300 人	+ 48,800人	+ 8.5%	100.0%

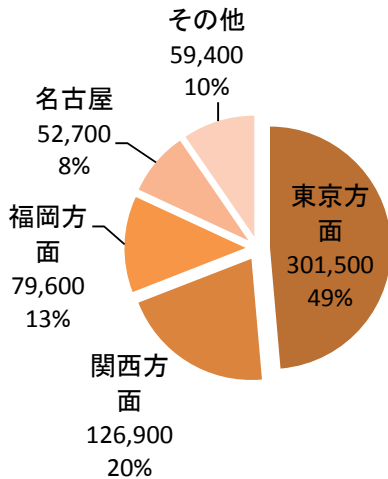
※国内海路客2,800人を含む(鹿児島2,600人、関西100人、その他100人)

外国客 国籍別入域状況

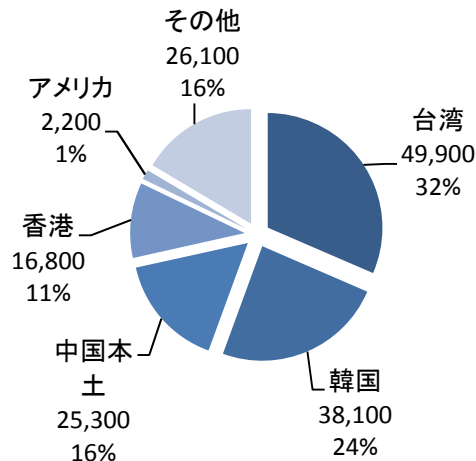
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H28年度	H28年度	H27年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	49,900 人	49,900 人	33,600 人	+ 16,300人	+48.5%	31.5%
韓国	38,100 人	38,100 人	29,500 人	+ 8,600人	+29.2%	24.1%
中国本土	25,300 人	25,300 人	25,700 人	△ 400人	△1.6%	16.0%
香港	16,800 人	16,800 人	20,300 人	△ 3,500人	△17.2%	10.6%
アメリカ	2,200 人	2,200 人	2,300 人	△ 100人	△4.3%	1.4%
その他	26,100 人	12,800 人	26,500 人	△ 400人	△1.5%	16.5%
合計	158,400 人	145,100 人	137,900 人	+ 20,500人	+14.9%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	40,200 人	40,200 人	+66.8%	33.0%	9,700 人	9,700 人	+2.1%	26.6%
韓国	38,100 人	38,100 人	+30.0%	31.2%	0 人	0 人	—	0.0%
中国本土	17,300 人	17,300 人	△1.1%	14.2%	8,000 人	8,000 人	△2.4%	22.0%
香港	16,600 人	16,600 人	+0.6%	13.6%	200 人	200 人	△94.7%	0.5%
アメリカ	1,700 人	1,700 人	+30.8%	1.4%	500 人	500 人	△50.0%	1.4%
その他	8,100 人	8,100 人	+84.1%	6.6%	18,000 人	4,700 人	△18.6%	49.5%
合計	122,000 人	122,000 人	+31.0%	100.0%	36,400 人	23,100 人	△18.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が堅調であったことに加えて、航空会社の提供座席数の増加等により、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、航空会社の予約状況も順調に推移していることから、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、各旅行会社の春休み旅行商品の販売状況が良好であったことに加えて、離島直行便の輸送実績が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況が良好なことや、各航空会社の増便計画等から、堅調に推移する見込み。

福岡

3月は、前年同月に比べて提供座席数が減となったものの、各航空会社における個人旅行商品の販売状況が好調であったことや、旅行会社の販売も好調であったこと等から、前年を上回った。

4月は、各航空会社における予約状況が良好なことや、各旅行会社による販売取組の強化の動きがあること等から、堅調に推移する見込み。

名古屋

3月は、航空会社の旅割系の先行申し込みの販売状況が良好だったことや、名古屋－宮古間の直行チャーター便の運航等もあり、前年を上回った。

4月は、各旅行会社における予約状況や航空会社の予約状況が底堅く推移していること等から、堅調に推移する見込み。

台湾

3月は、タイガーエア台湾の高雄－那覇路線の新規就航や、定期クルーズ船の寄港が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、琉球海炎祭のチケットが2,000枚販売(今年の4倍)されたことや、クルーズ船の寄港増が予定されており、空路・海路客ともに順調に増加する見込み。

韓国

3月は、韓国では新学期開始でオフシーズンであったものの、旅行会社による旅行商品販売の取組強化や、前年同月に比べて各航空会社による航空路線の拡充があったこと等から、前年を上回った。

4月は、国内情勢の影響が懸念されるものの、4月に、ティーウェイ航空の大邱－那覇路線が新規就航されていること等から、好調に推移する見込み。

中国本土・北京

3月は、前年同月と比べ航空路線数に増減がないことや、日本本土のお花見の旅行商品との競合等から、前年を下回った。

4月以降は、中国東方航空の西安－那覇路線が新規就航されていること等から、堅調に推移する見込み。

中国本土・上海

3月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したものの、大型のクルーズ船の寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

4月以降は、航空会社の予約状況が良好なことや、クルーズ船の寄港増が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

香港

3月は、前年同月と比べ航空路線数が拡充したものの、クルーズ寄港回数が減ったこと等から、前年を下回った。

4月以降は、航空会社の増便に加え、ゲンティンドリーム号による那覇と宮古島への定期寄港がはじまること等から堅調に推移する見込み。